

令和7年度 三次市における公共交通に関するアンケート調査
(結果概要)

目次

[結果の概要]	1
1. 調査の実施概要と回答者	3
(1) 実施概要	3
2. 調査結果の概要	4
(1) 無理なく休まずに歩ける時間	4
(2) 普段の外出について	5
(3) 路線バスの利用について	13
(4) JRの利用について	20
(5) タクシーの利用について	23
(6) 市民バス等の利用について	27
(7) これからの三次市の公共交通について	28
(8) スマホ・キャッシュレス決済の活用について	33
(9) 三次市の地域公共交通に対する意見等	35

[結果の概要]

①回答者について

- ・回収率は48.0%と高く、市民の生活交通への関心の高さがうかがえる。(P3)
- ・回答者の約9割が運転免許を保有し、さらにその約9割が、しばらく返納予定がない。(P3)
- ・80歳以上の方が無理なく休まずに歩ける時間は、「5分以下」が約1割を占めるが、「30分以上」とする方も約2割を占める。(P4)

②市民の主な外出について

- ・外出行動は、「生活必需品の買物」や「通勤」、「通院」を目的とする方が多く、年齢が上がると「通院」の割合が高くなる。(P5)
- ・外出行動の移動手段は、15～17歳を除く全ての年齢層において、「自家用車」を自分で運転する方が突出している。(P6)
- ・外出行動の行先では、三次地域内の居住者はもちろん、旧町村地域からも三次地域内の目的地を訪れる方が多い。(P8)

③市内の公共交通の満足度と不安

- ・市内の公共交通を「満足」と考える方は約1割、「不満」は約3割であり、不満に思う市民の方が多数。(P9)
- ・数年後の移動手段を「不安」に思う方が8割弱を占めており、また、15～17歳を除くと、年齢が上がるにつれて「とても不安」の割合が高くなっている。(P10)

④路線バスの利用について

- ・路線バスを「全く利用しない」方が約8割を占め、逆に「月1日以上」利用する割合は約3%にとどまる。(P13)
- ・頻度を年齢別で見ると、15～17歳では「週1日以上」が約1割を占めるなど利用頻度が高い。(P13)
- ・利用目的は、「通院」、「ショッピングや趣味・レジャー」が多い。(P14)
- ・市内のバス運行の満足度は、「不満」が約4割、「満足」が約1割を占める。(P15)
- ・利用しにくいと感じる点は、「バスの便数が少ない」、「家からバス停が遠い」の意見が多い。また、「乗ったことがないからわからない」も4分の1を占める。(P18)

⑤JRの利用について

- ・市内発着のJRを「全く利用しない」方が6割弱を占め、逆に「月1日以上」利用する割合は約5%にとどまる。(P20)
- ・頻度を年齢別で見ると、15～17歳では「週1日以上」が約2割を占めるなど利用頻度が高い。(P20)
- ・市内発着のJRの満足度は、「不満」が4割弱、「満足」が約2割を占める。(P21)
- ・利用しにくいと感じる点は、「本数が少ない」が約6割を占め最も多く、以下「目的の駅まで時間がかかる」、「最終の時間が早い」と続いている。(P22)

⑥タクシーの利用について

- ・市内のタクシーを「全く利用しない」方は約6割を占め、逆に「月1日以上」利用する割合は約4%にとどまる。(P23)
- ・頻度を年齢別で見ると、80歳以上では「月1日程度以上」が約1割を占めるなど利用頻度が高い。(P23)
- ・市内のタクシーの満足度は、「満足」が約25%であり、「不満」の約19%を上回る。(P25)
- ・利用しにくいと感じる点は、「運賃が高い」が最も多く、次いで「タクシー台数が少ない」である。(P26)

⑦公共交通維持の考え方について

- ・これからの公共交通維持の考え方としては、行政の「負担額の拡大もやむを得ない」と考える方が多く、約半数を占める。また、「現状の負担額の水準に抑える」が4分の1である。(P28)
- ・今後あれば良いと思う公共交通施策としては、「三次市民バスのデマンド化」が最も多く、「ライドシェアの導入」、「バス等の待合環境の整備」と続く。また、「三次市民バスのデマンド化」は、特に布野地域で割合が大きい。(P29、P30)
- ・若い年齢層に限ると「バス等のキャッシュレス決済導入」の意見が多い。(P29)
- ・「ライドシェア」の導入に関して、「使ってみたい」は約2割で、年齢が上がるほどその割合が大きくなる傾向がある。また、ドライバーとしては、約2割が参加意欲を持つ。(P31、P32)

⑧スマホの利用について

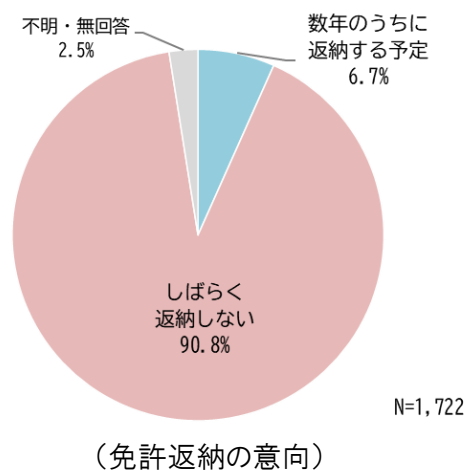
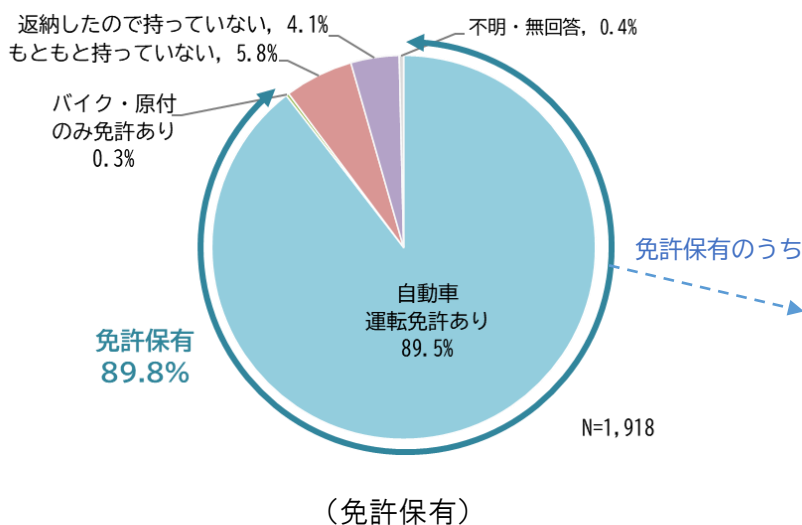
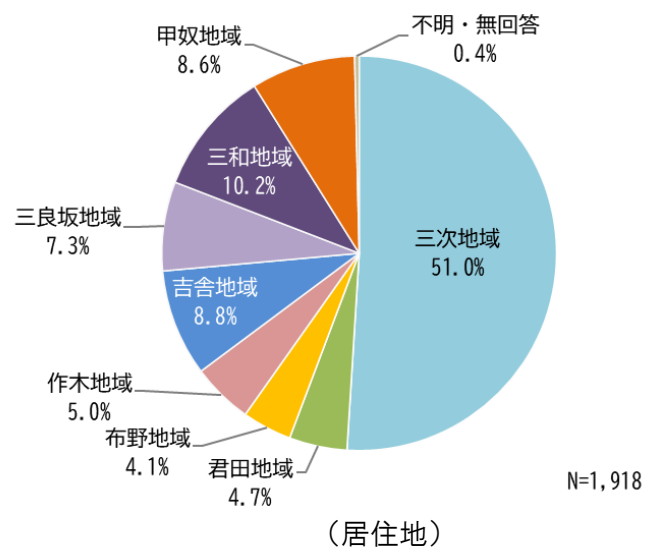
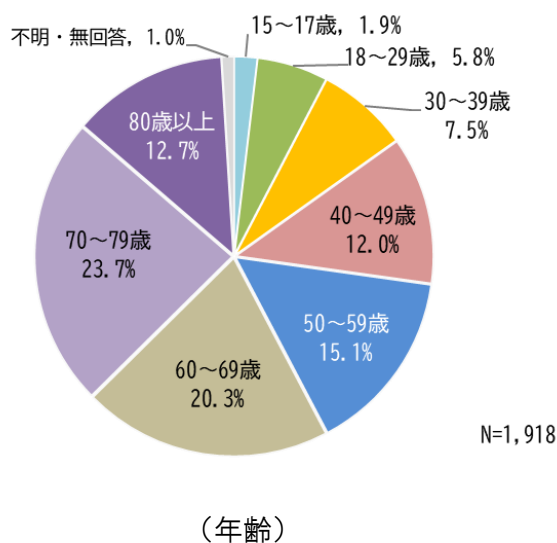
- ・スマホ保有率は約8割、LINE利用率は約7割、市公式LINE登録率は約3割である。(P33)
- ・スマホ保有率は、70代までは8割を超えるが、80歳以上だと4割弱に落ちる。(P33)

1. 調査の実施概要と回答者

(1) 実施概要

調査の目的	市民（満15歳以上の市内居住者）を対象に、地域公共交通の利用実態や満足度、要望等の意見、また今後の地域公共交通の維持・活性化の考えなどを把握。
配布・回収	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配布回収方法：郵送配布／郵送・WEB回収 ■ 配布件数：4,000件 ■ 有効サンプル数：1,918件 [郵送回収1,645件、WEB回収273件]
回収率	48.0%

(2) 回答者について

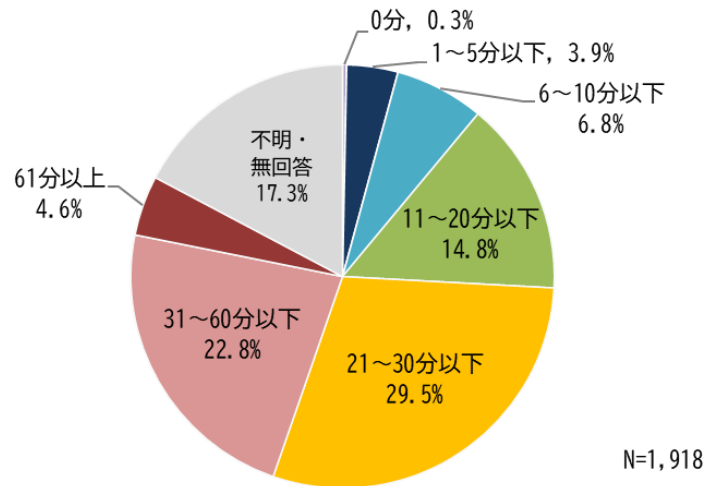


2 調査結果の概要

(1) 無理なく休まずに歩ける時間

○回答者が無理なく休まずに歩ける時間は、「21～30分以下」(29.5%)と回答した人が最も多く、以下「31～60分以上」(22.8%)、「11～20分以下」(14.8%)と続いている。

○年齢別でみると、80歳以上のみ、他の年齢層の傾向と大きく異なっており、5分以下の割合が11.5%(不明・無回答を除くと14.2%)となっている。



[年齢別]

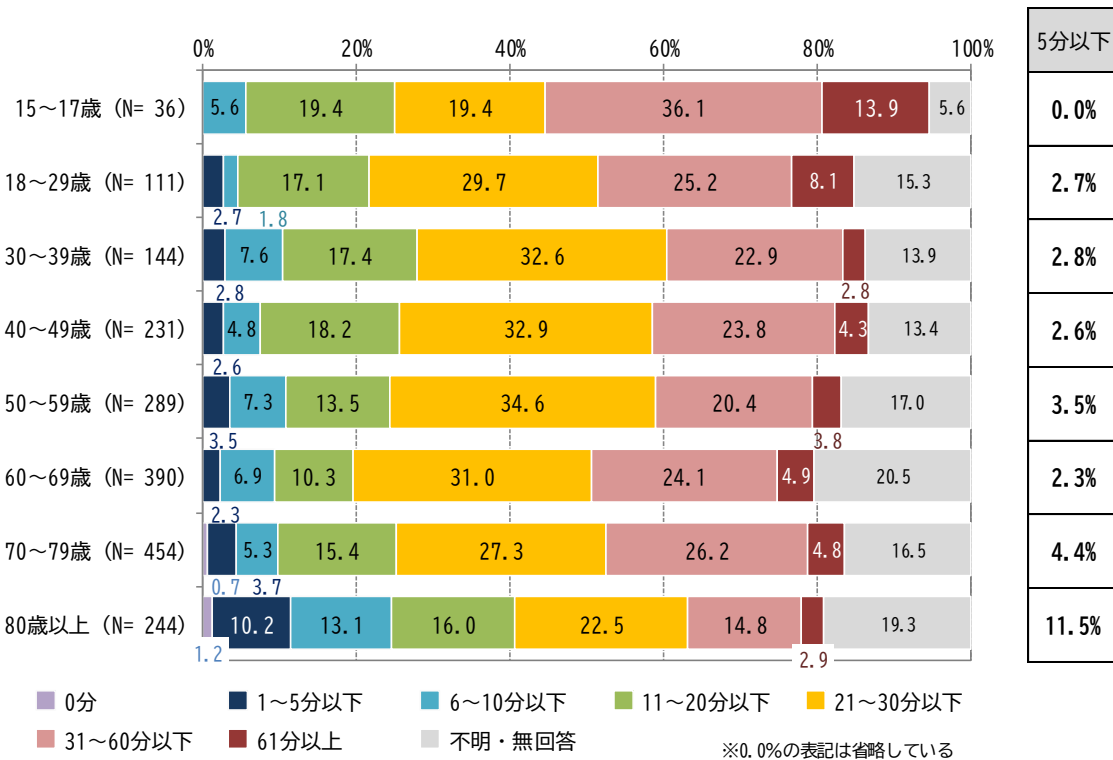


図 回答者が無理なく休まずに歩ける時間

(2) 普段の外出について

① 普段の外出目的

○ 普段の外出目的は「生活必需品の買物」が62.4%で最も多く、以下「通勤」(46.1%)、「通院」(27.0%)、「ショッピングや趣味・レジャー」(24.0%)と続いている。

○ 年齢別でみると、18～59歳では「通勤」、60歳以上では「生活必需品の買物」が最も多い。また、80歳以上では「通院」も63.1%と割合が高い。

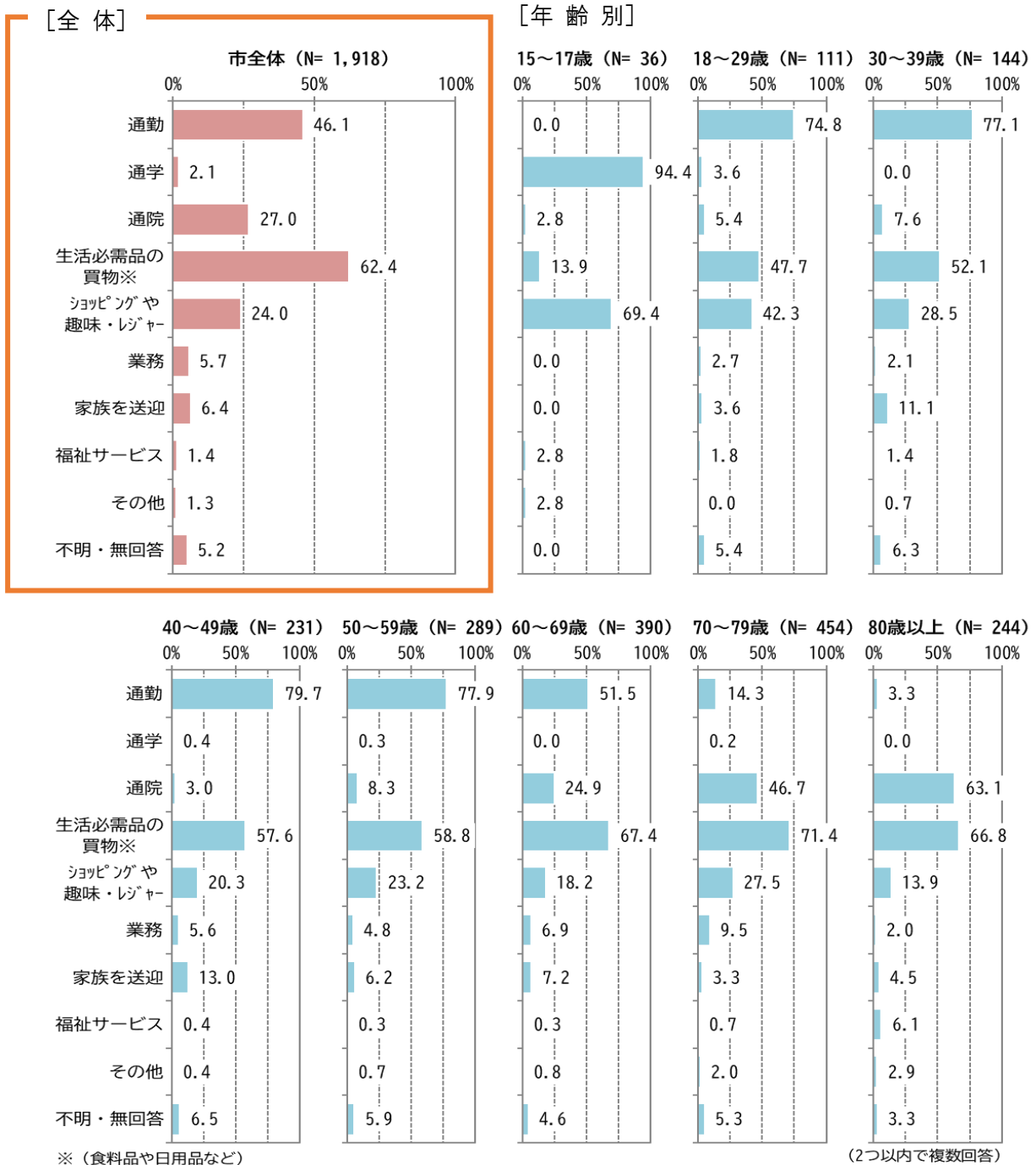


図 普段の外出目的

②外出するときの手段

○外出するときの手段は、「自家用車（自分で運転）」（73.6%）を利用する割合が極めて高い。また、「JR（鉄道）」の利用は7.7%となっている。一方、『市民バス等』の利用は、かなり少ない。

○年齢別でみると、他の年齢層と比べて15～17歳では「自転車」（36.1%）、80歳以上では「タクシー」（9.4%）の割合が高い。

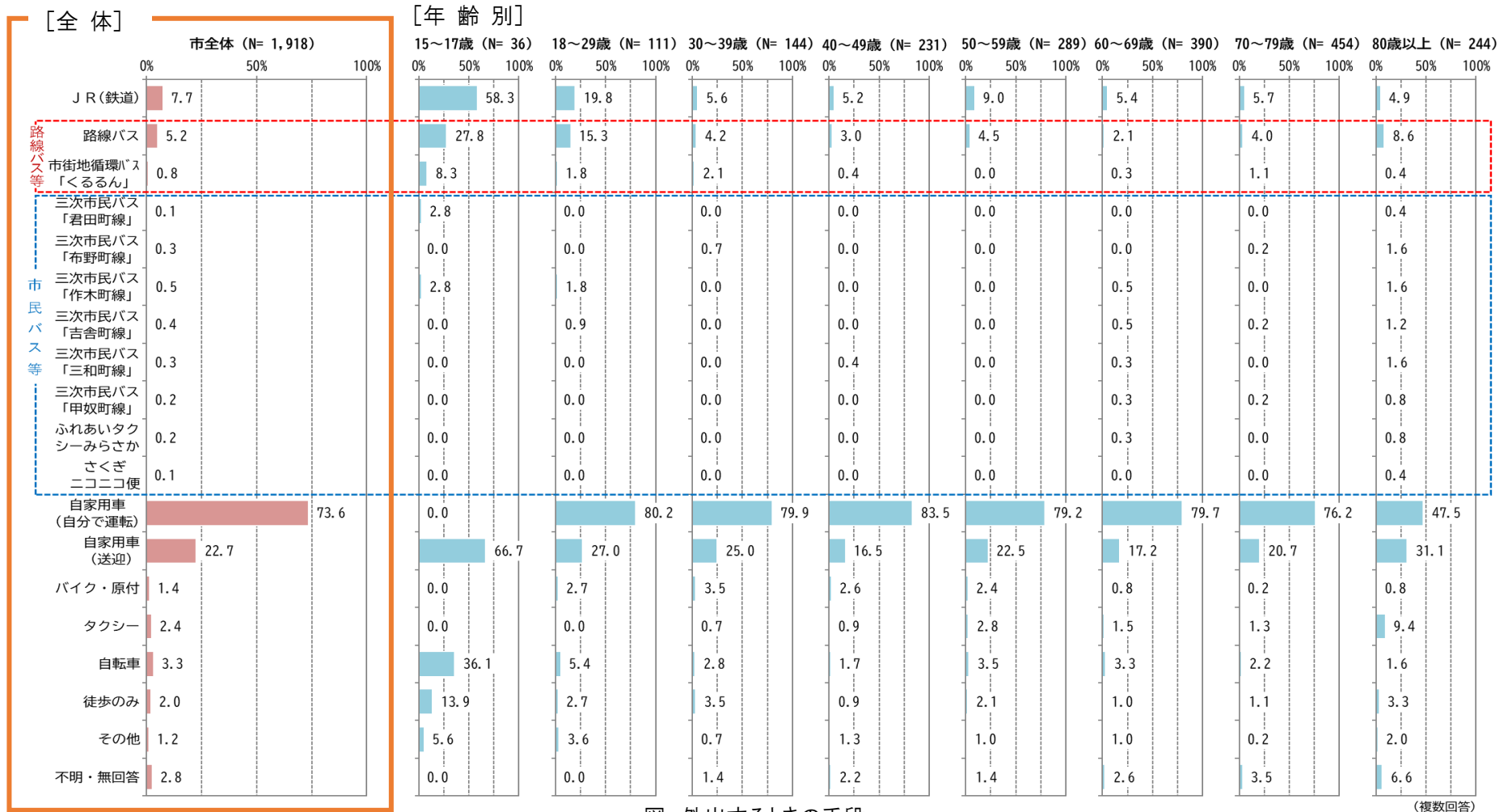


図 外出するときの手段

(複数回答)

③主な外出先の地域

○主な外出先の地域は、「三次地域」が89.7%を占めている。以下、「広島市」が24.4%、庄原市が19.6%と続いている。

○年齢別でみると、全ての年齢層で「三次地域」が最も多いが、29歳以下では「広島市」も40%以上である。

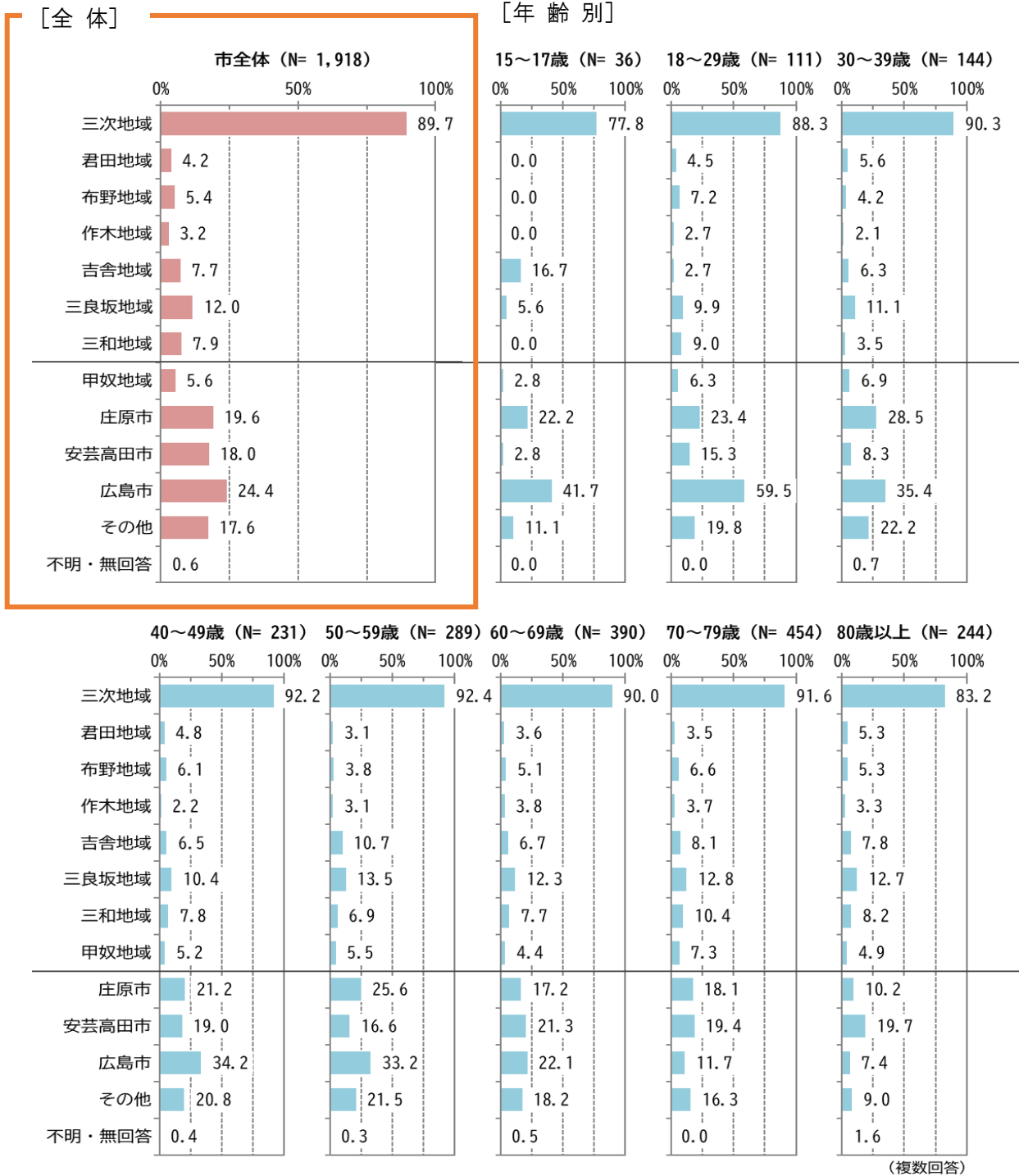


図 主な外出先の地域[年齢別]

○地域別での外出先をみると、旧町村地域からも三次地域へ外出する割合が最も高い。

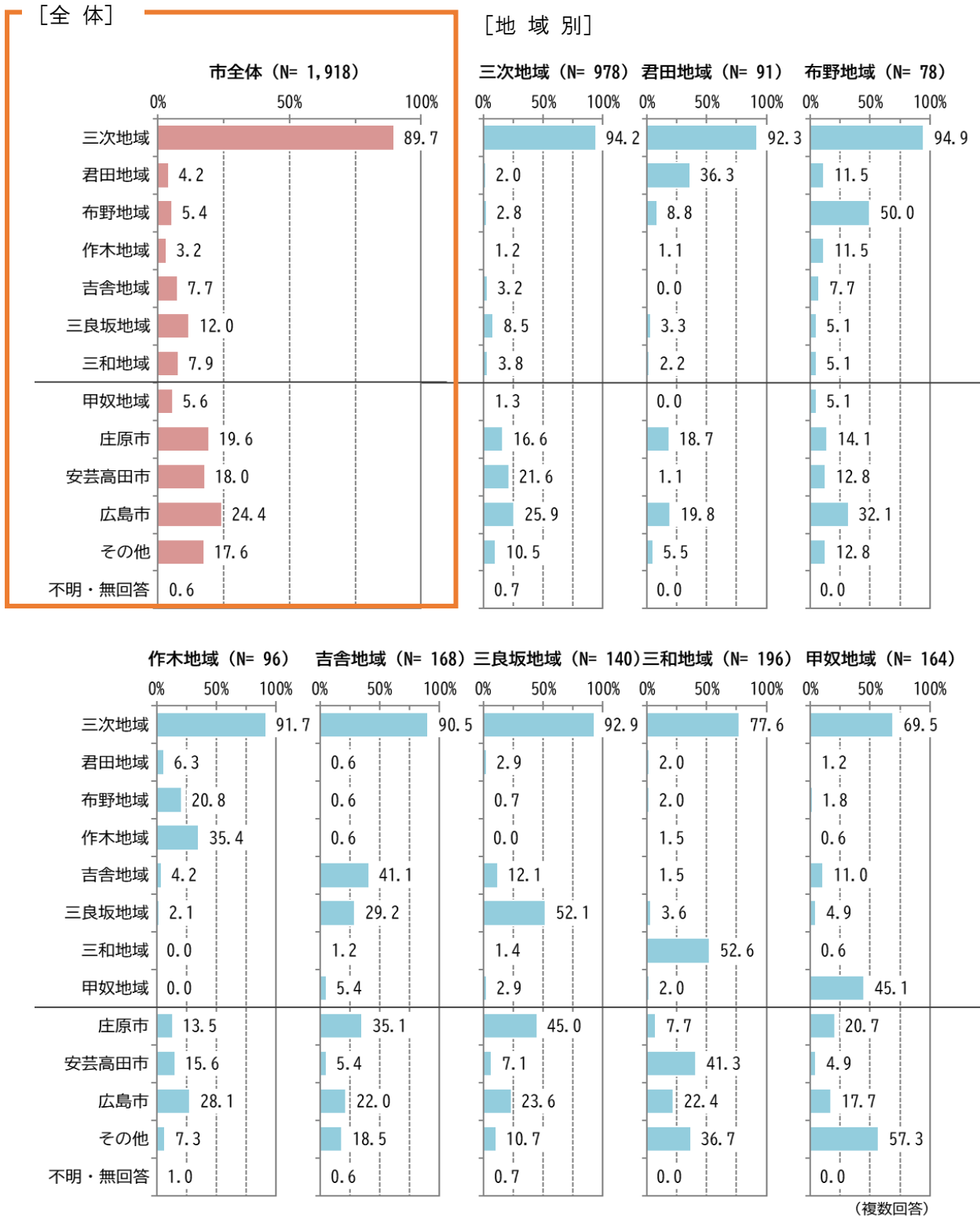


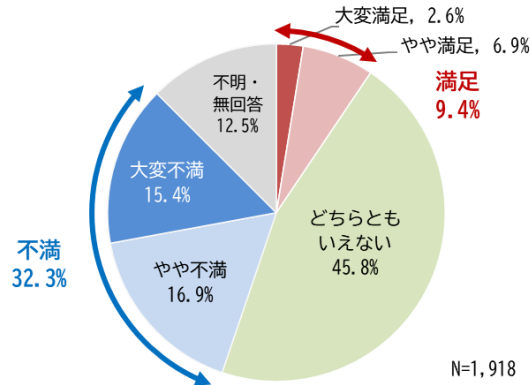
図 主な外出先の地域[地域別]

④日常生活での市内の公共交通の満足度

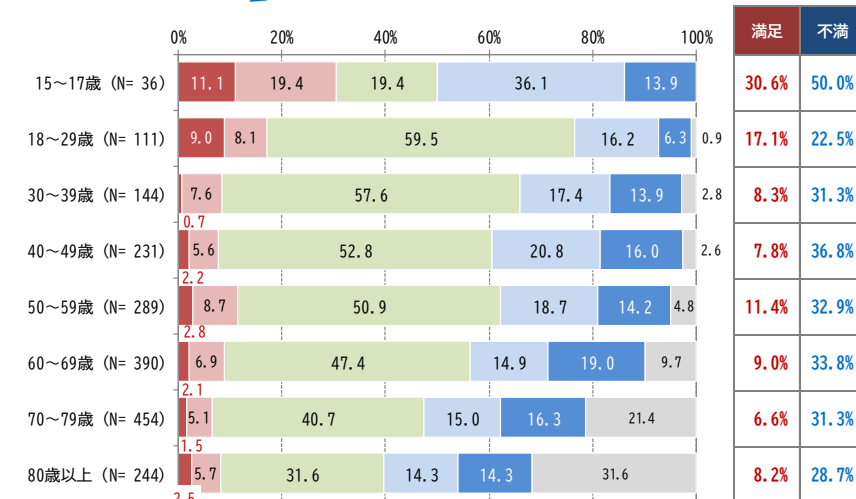
○“三次市内の公共交通”の満足度は、『満足』（「大変満足」と「やや満足」の合計、以下同じ）の割合は9.4%であるのに対し、『不満』（「やや不満」と「大変不満」の合計、以下同じ）は32.3%と『不満』の割合の方が高くなっている。

○年齢別で見ると、15～17歳（50.0%）の『不満』の割合が、他の年齢層に比べて極端に高い。

○地域別で見ると、三良坂地域（2.9%）、三和地域（4.6%）の『満足』の割合が5%未満と低い。



[年齢別]



[地域別]

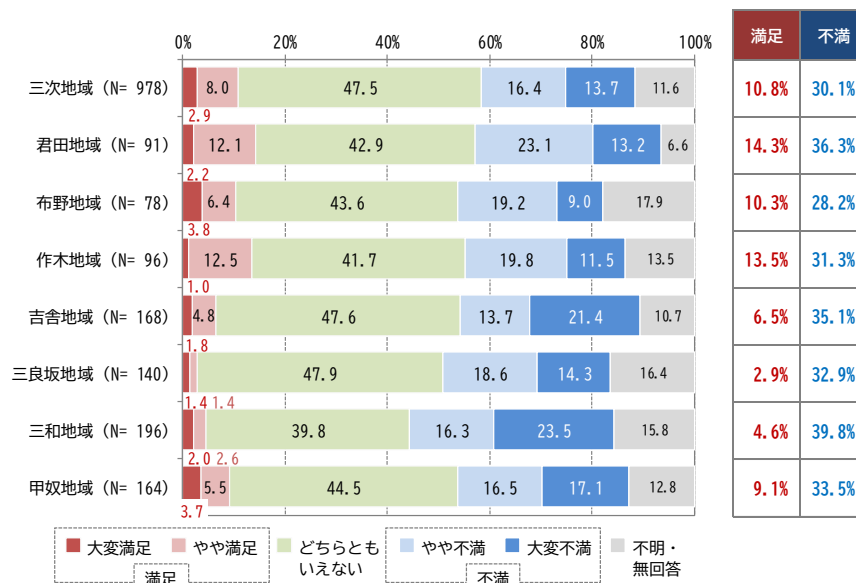
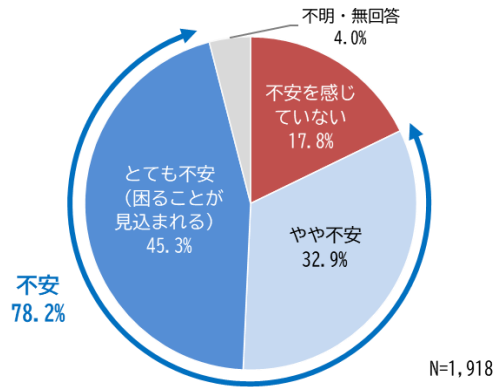


図 日常生活での市内の公共交通の満足度

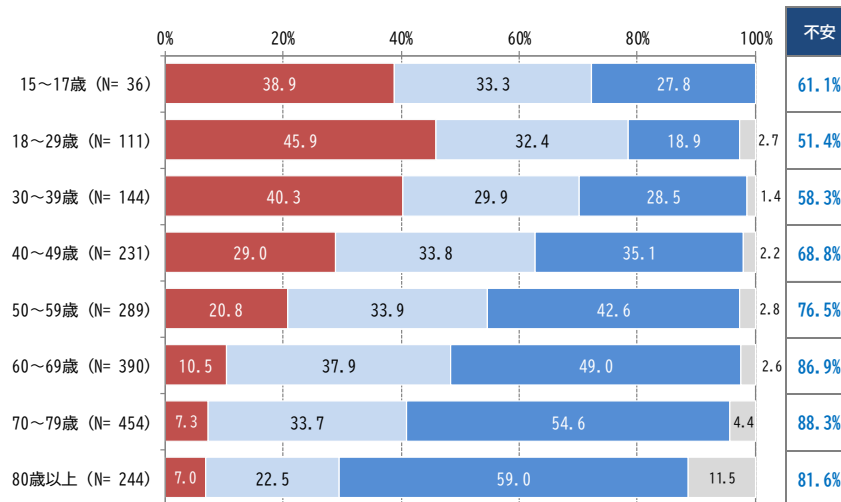
⑤数年後の移動手段への不安

○数年後の移動手段への不安は、『不安』（「やや不安」と「とても不安（困ることが見込まれる）」の合計、以下同じ）が78.2%と8割弱を占めている。一方、「不安を感じていない」は17.8%となっている。

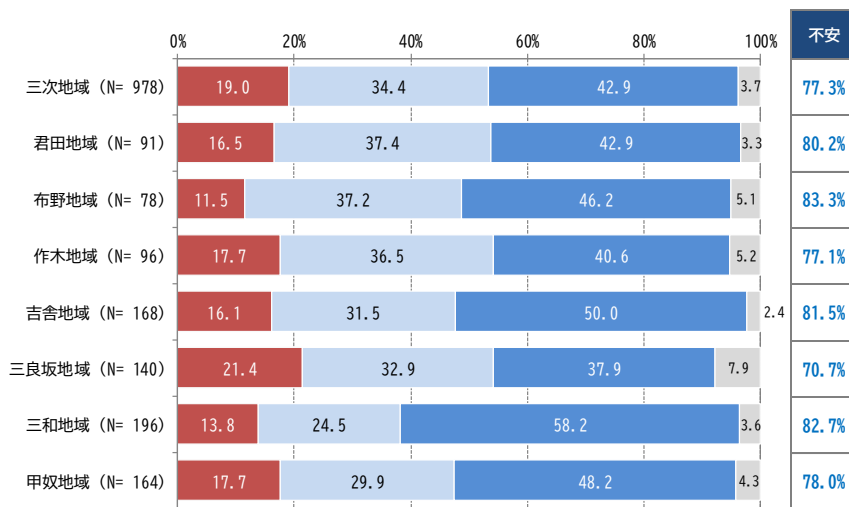
○年齢別でみると、（15～17歳を除いて）年齢が上がるにつれて、「とても不安」の割合が高くなっており、70歳以上では過半数を占める。「やや不安」も併せた『不安』の割合は、全ての年齢層で過半数を占め、60歳以上では80%以上である。



[年齢別]



[地域別]



■ 不安を感じていない ■ やや不安 ■ とても不安 (困ることが見込まれる) ■ 不明・無回答

※0.0%の表記は省略している
図 数年後の移動手段への不安

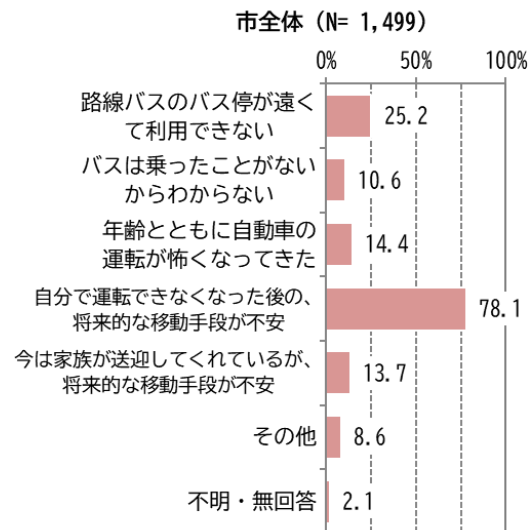
↓不安と回答した方のみ

【数年後の移動手段について「不安」に感じる内容】

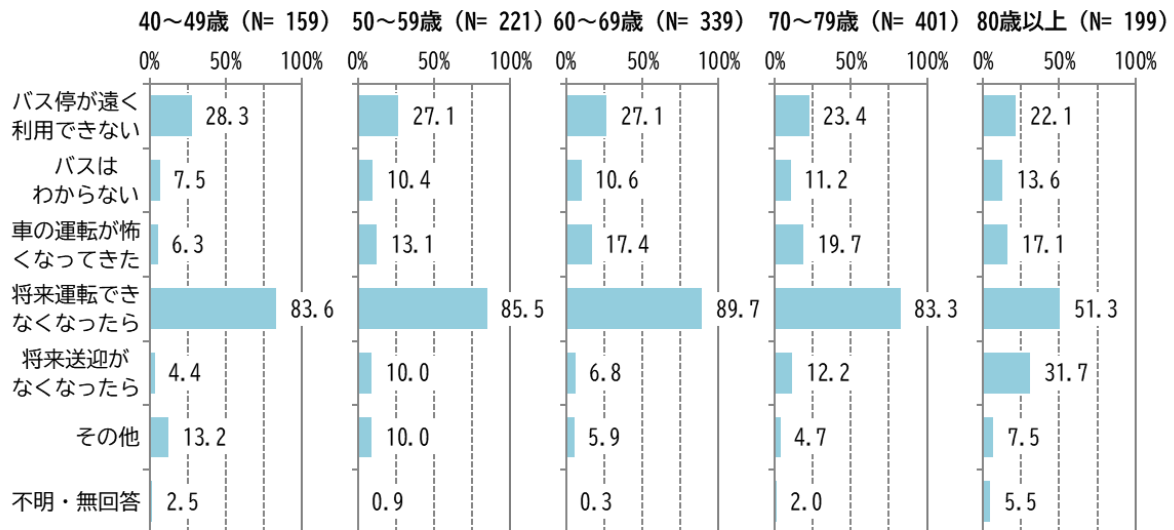
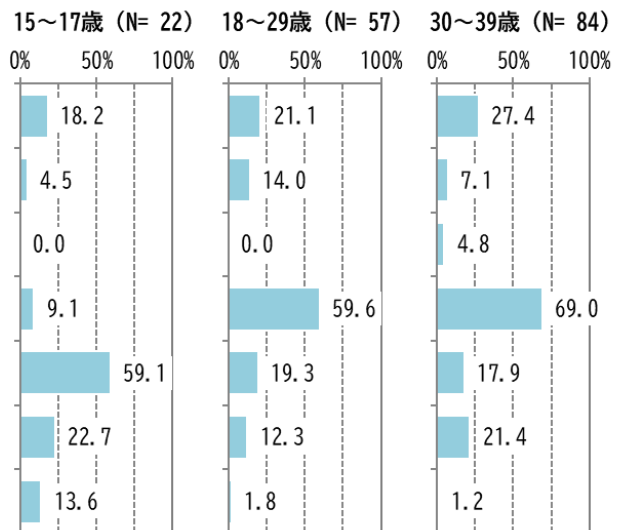
○数年後の移動手段について「不安」に感じる内容は、「自分で運転できなくなった後の、将来的な移動手段が不安」が78.1%を占めている。次いで、「路線バスのバス停が遠くて利用できない」が25.2%となっている。

○年齢別でみると、40～70歳代では「自分で運転できなくなった後の、将来的な移動手段が不安」が80%以上を占める。

[全体]



[年齢別]



※一部、選択肢の文言を省略している

(複数回答)

図 数年後の移動手段に不安を感じる内容[年齢別]

○数年後の移動手段について「不安」を感じる内容を地域別で見ると、布野地域、作木地域、三和地域では「路線バスのバス停が遠くて利用できない」が30%以上を占め、他の地域よりその割合が高い。

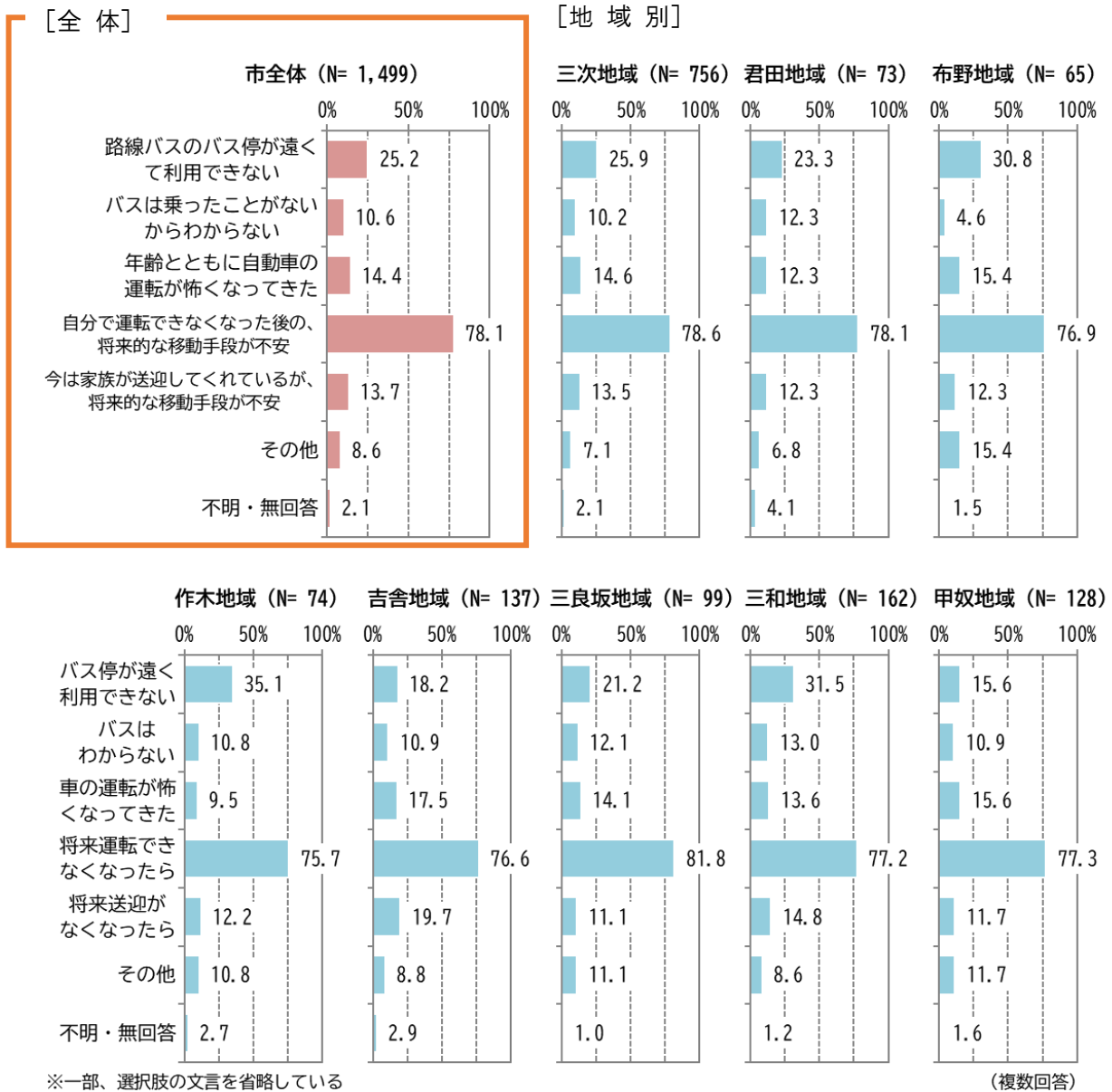


図 数年後の移動手段に不安を感じる内容[地域別]

(3) 路線バスの利用について

①市内の路線バスの利用頻度

○路線バスの利用頻度は、「全く利用しない」が 81.3%を占めている。一方、『月 1 日以上』の割合は 2.7%、さらに『週 1 日以上』利用する回答者は 1.1%にとどまる。

○年齢別でみると、15～17 歳では『週 1 日以上』が 11.1%を占めるなど利用頻度が高い。

○地域別でみると、三和地域、甲奴地域では「全く利用しない」が 85%以上を占める。

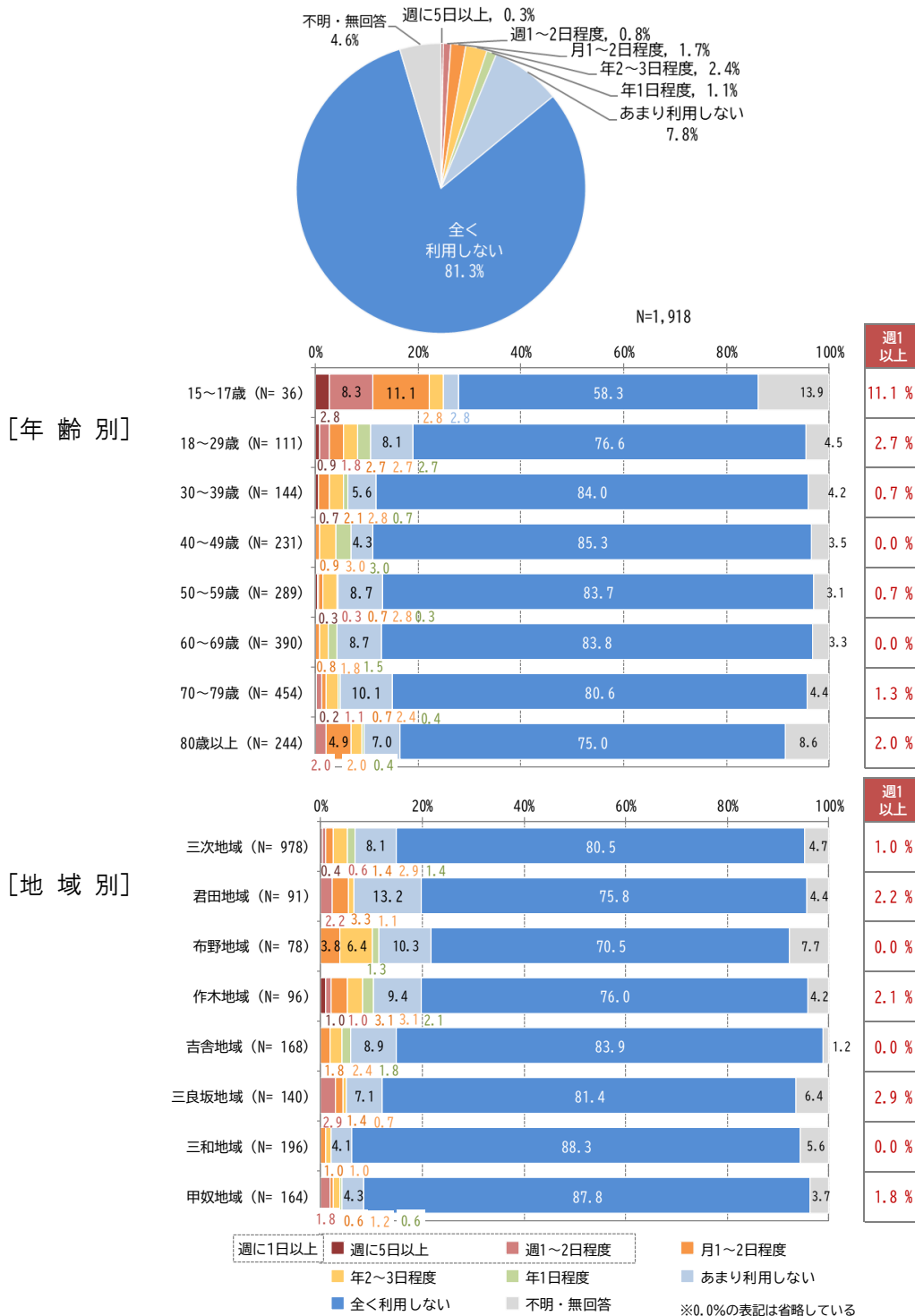


図 市内の路線バスの利用頻度

②市内の路線バスの利用目的<路線バスを利用している人のみ>

○路線バスの利用目的は、「通院」が31.1%で最も多く、以下、「ショッピングや趣味・レジャー」(27.0%)、「生活必需品の買物」(14.8%)と続いている。なお、「その他」の具体的な内容は、飲食のとき(飲み会含む)、自家用車が使えないときなどとなっている。

○年齢別でみると、70歳以上では「通院」が最も多く、80歳以上で57.5%を占める。一方、18~59歳下では「ショッピングや趣味・レジャー」が最も多くなっている。

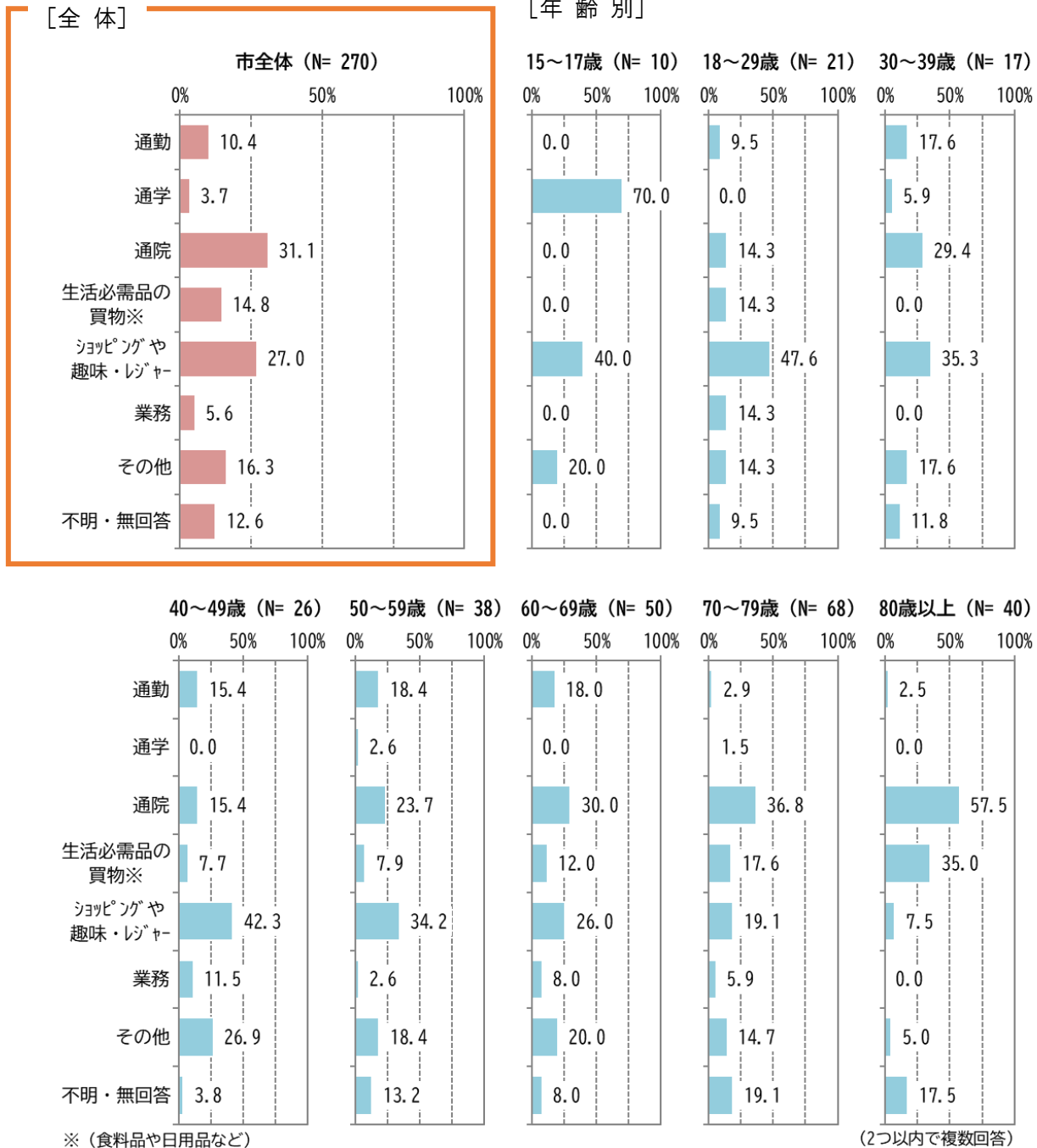
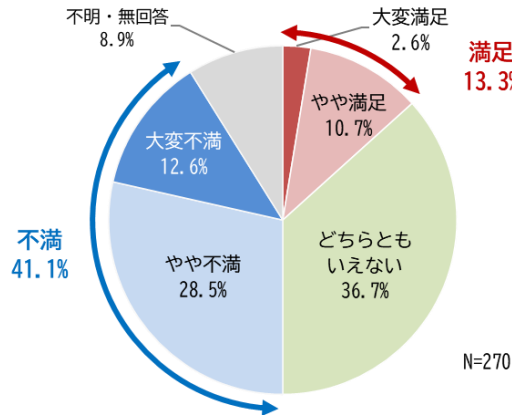


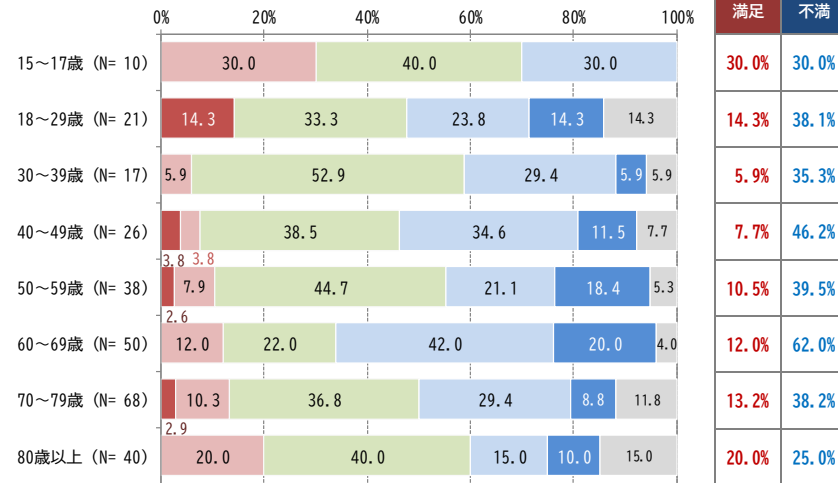
図 市内の路線バスの利用目的<路線バスを利用している人のみ>

③市内路線バスの満足度<路線バスを利用している人のみ>

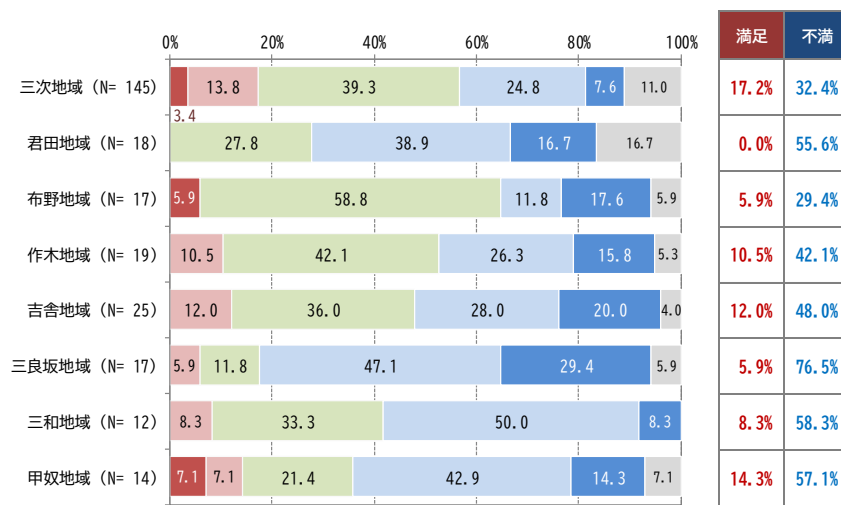
○市内のバス運行の満足度は、『不満』が41.1%を占め、『満足』(13.3%)を上回っている。
 ○年齢別でみると、60～69歳では『不満』の割合が62.0%と他の年齢層を比べて高い。
 ○地域別でみると、三良坂地域では『不満』が76.5%を占め、他の地域と比べてその割合が非常に高い。



[年齢別]



[地域別]



■ 大変満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 大変不満 ■ 不明・無回答
満足 不満

※0.0%の表記は省略している

図 市内路線バスの満足度

○満足度を利用頻度別でみると、週に1~2日程度、月に1~2日程度が『満足』の割合が31.3%と高い。

[利用頻度別]

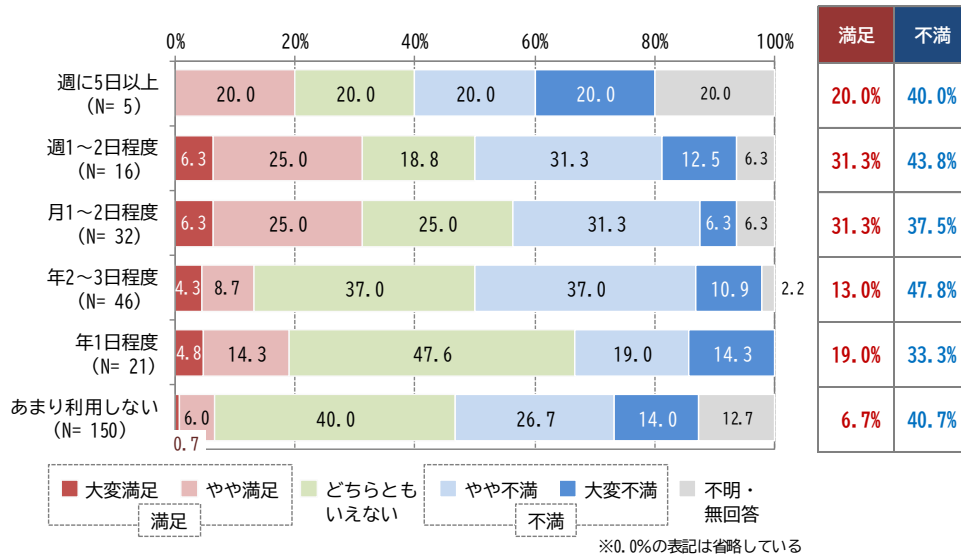


図 市内路線バスの満足度<路線バスを利用している人のみ>

⑤バス情報の調べ方<路線バスを利用している人のみ>

○バス情報の調べ方は、「現地のバス停にある時刻表」が 38.1%で最も多く、以下、「紙の時刻表」(33.3%)、「その他インターネット(乗換アプリ含む)」(31.1%)、「バス会社のホームページ」(29.6%)と続いている。

○年齢別でみると、18~29歳では「その他インターネット」、40~49歳では「バス会社のホームページ」が60%以上を占めるほか、60歳代以下ではインターネットやアプリの利用が多い。一方、70歳以上では「現地のバス停にある時刻表」が最も多い。

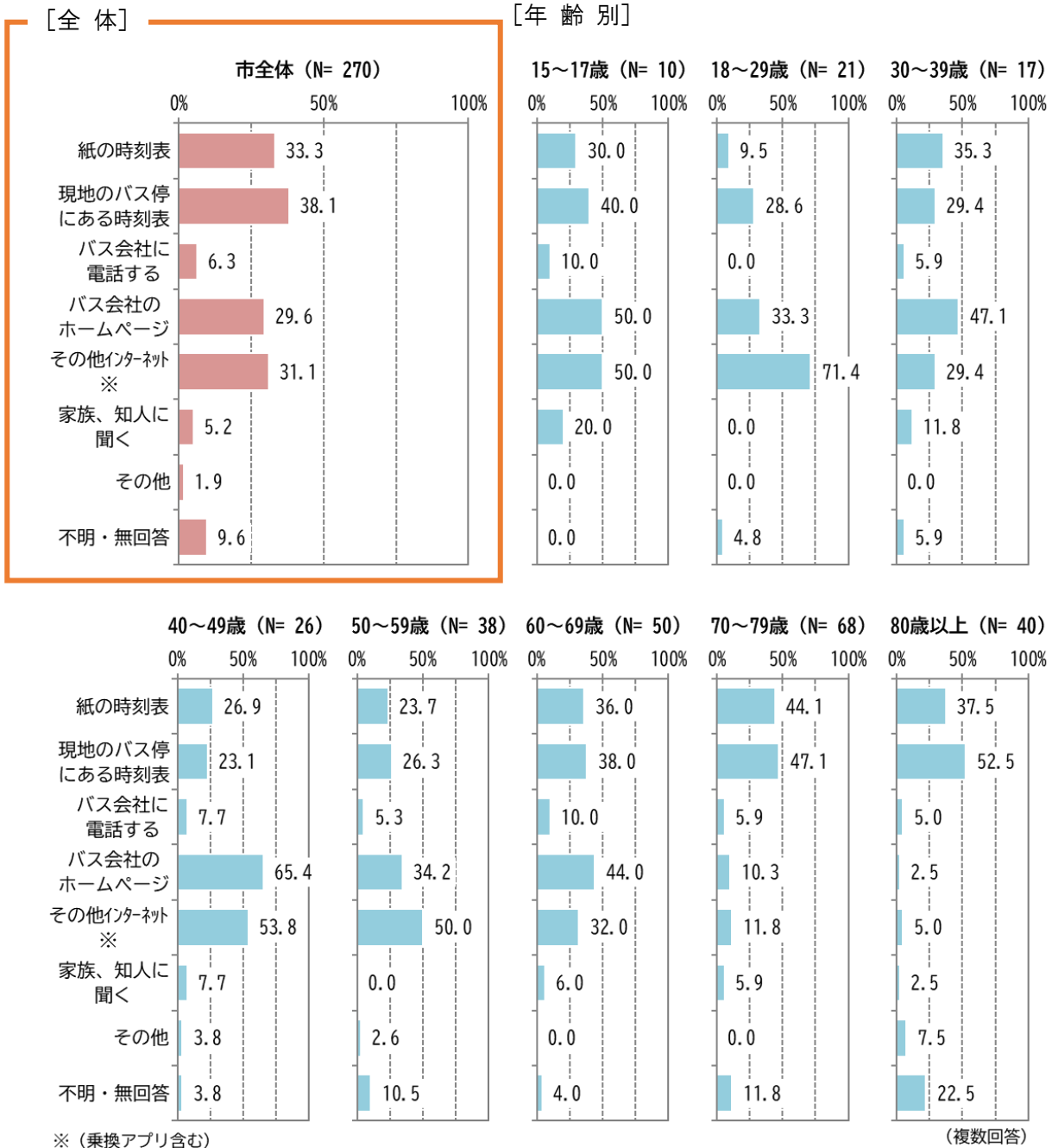


図 バス情報の調べ方<路線バスを利用している人のみ>

⑥市内の路線バスを利用しにくいと感じる点

○市内の路線バスを利用しにくいと感じる点は、「バスの便数が少ない」が45.7%で最も多く、次いで「家からバス停が遠い」が31.3%となっている。
 一方、「乗ったことがないからわからない」は25.9%、「特になし」は7.1%となっている。
 ※ただし、「乗ったことがないからわからない」と回答した497件のうち203件はそれ以外の選択肢も併せて回答している。

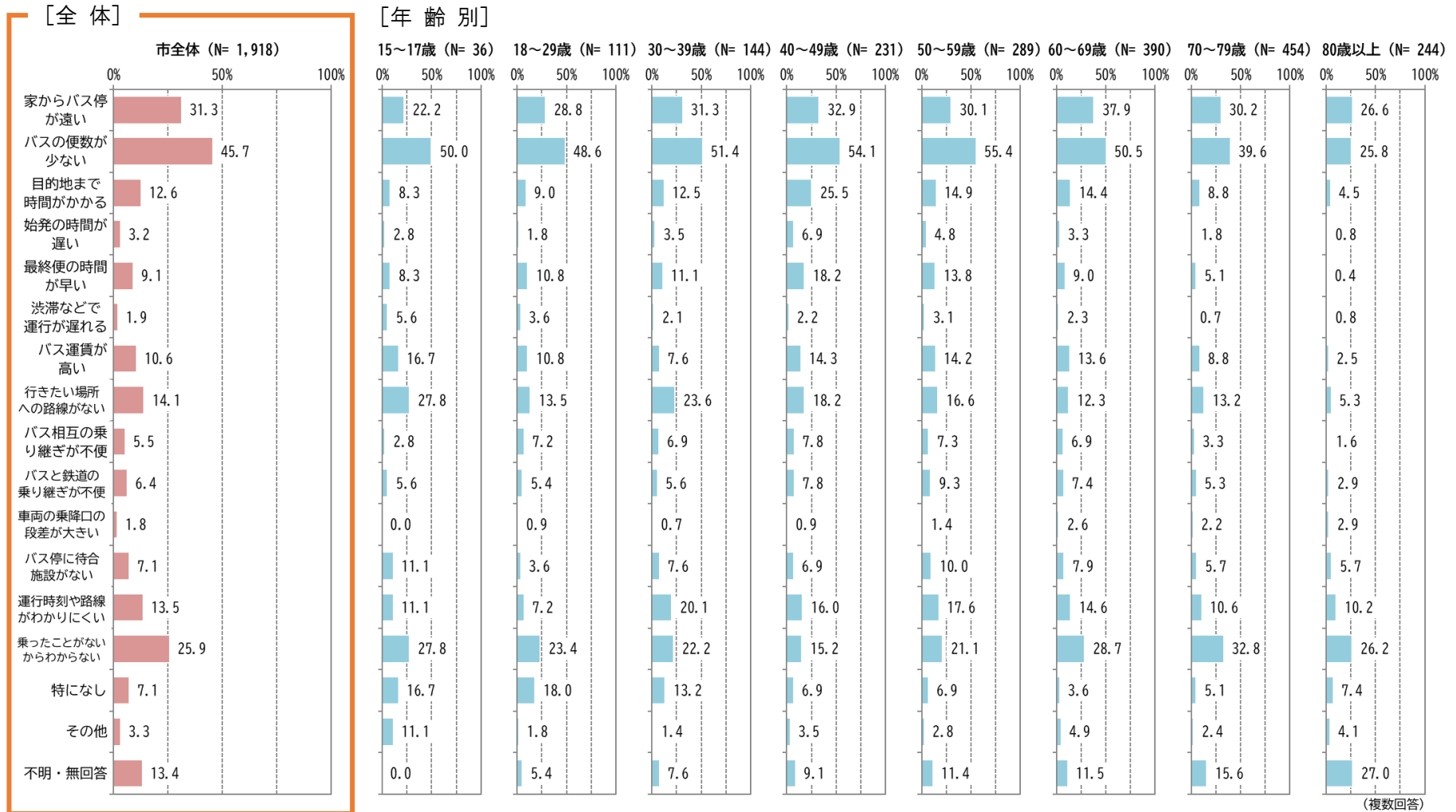


図 市内の路線バスを利用しにくいと感じる点

○地域別でみると、君田地域、布野地域、吉舎地域、三良坂地域では「バスの便数が少ない」が過半数を占める。また、甲奴地域では「乗ったことがないからわからない」が37.2%で最も多い。

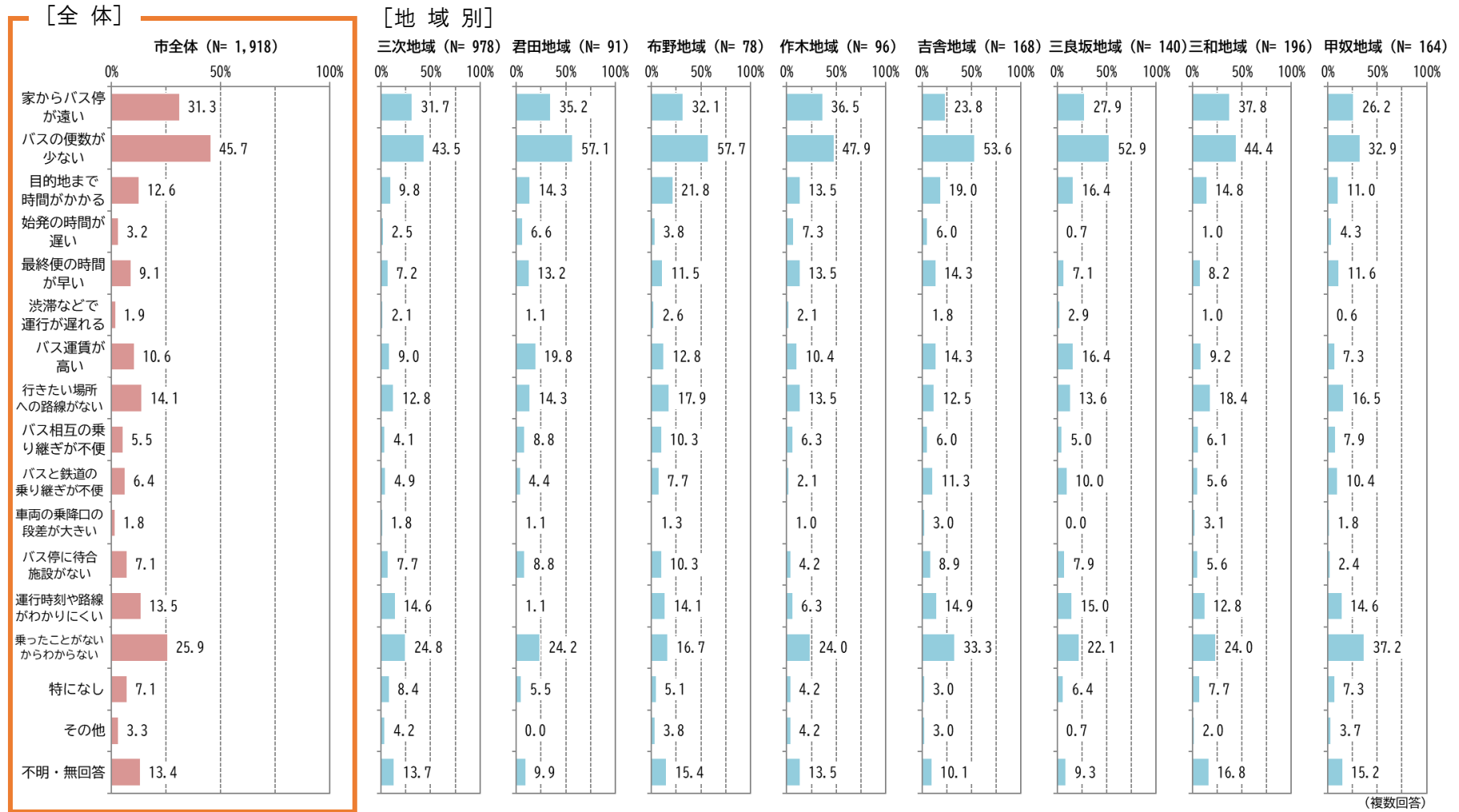


図 市内の路線バスを利用しにくいと感じる点

(4) JR の利用について

①市内発着の JR の利用頻度・利用区間

○JR の利用頻度は、「全く利用しない」が 56.2%と過半数を占めている。次いで「あまり利用しない」が 16.9%となっている。一方、『月 1 日以上』の割合は 5.4%、さらに『週 1 日以上』利用する回答者は 1.4%にとどまる。

○年齢別でみると、15～17 歳では『週 1 日以上』が 22.2%を占めるなど利用頻度が高く、次いで 18～29 歳も比較的高い。

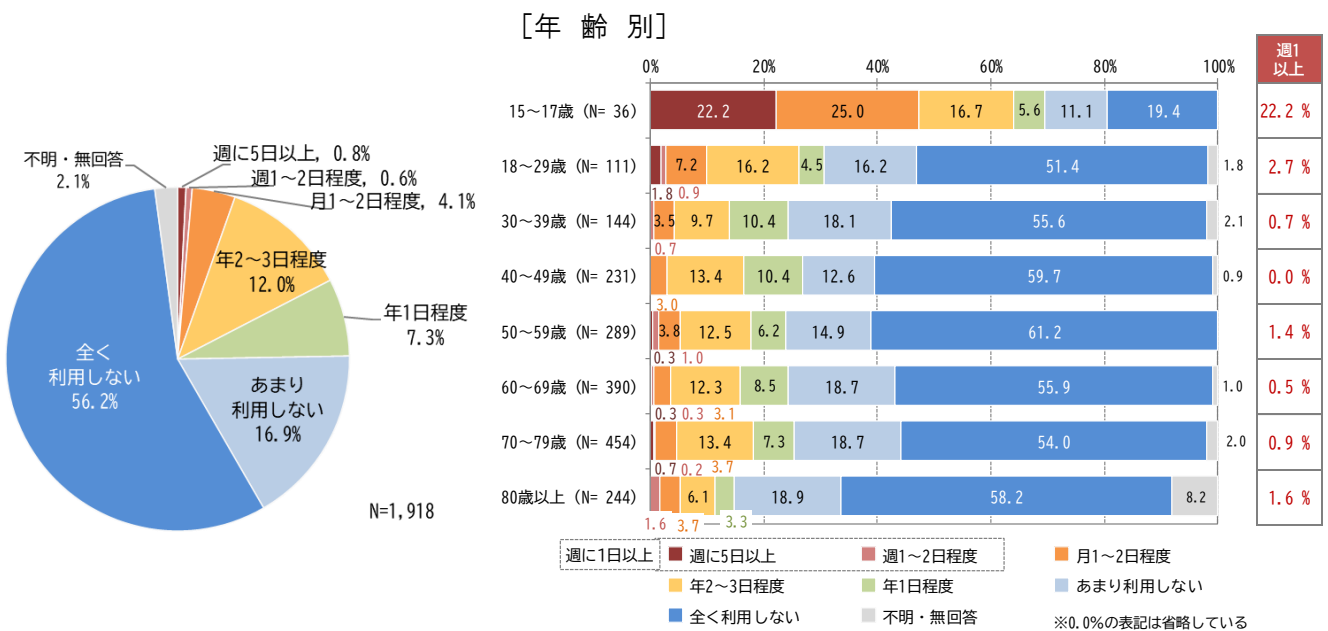


図 市内発着の JR の利用頻度

○JR の主な利用区間は、「三次～広島」が 48.3%で最も多く、半数近くを占めている。以下、「甲立～広島」(5.3%)、「志和地～広島」(4.8%)、「三次～志和地」(4.0%)と続いている。

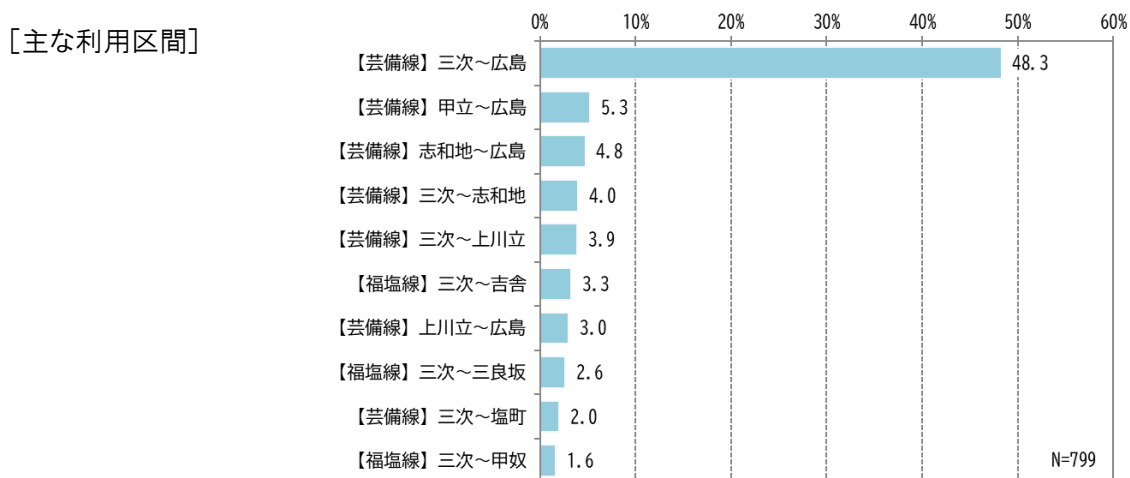
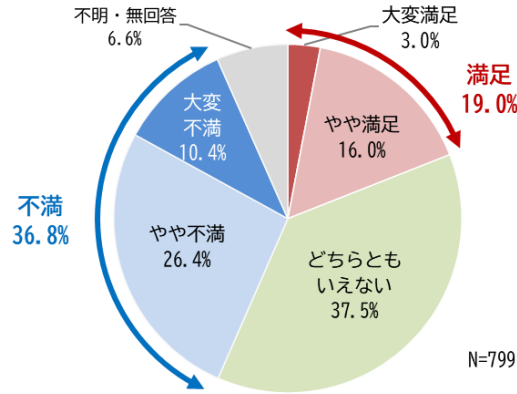


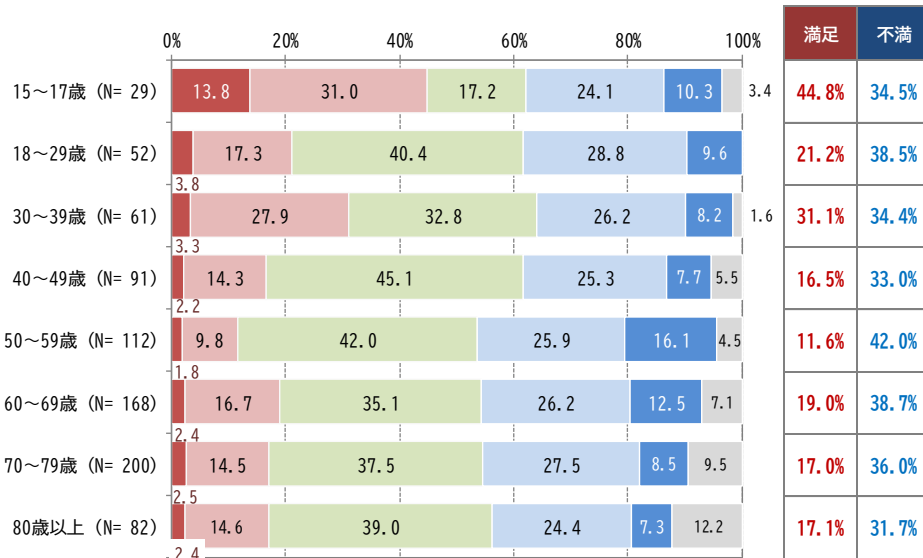
図 市内発着の JR の主な利用区間<JR を利用している人のみ>[10 件以上の区間のみ表示]

②市内発着の JR の満足度と不満な事項<JR を利用している人のみ>

- 利用している市内発着の JR の運行や駅施設の満足度は、「どちらともいえない」が 37.5%で最も多いものの、『不満』(36.8%)が『満足』(19.0%)を上回っている。
- 年齢別でみると、15～17 歳 (44.8%) では『満足』の割合が他の年齢層と比べて高い。
- 利用頻度別でみると、頻度が少なくなるほど『満足』の割合が小さくなっている。



[年齢別]



[利用頻度別]

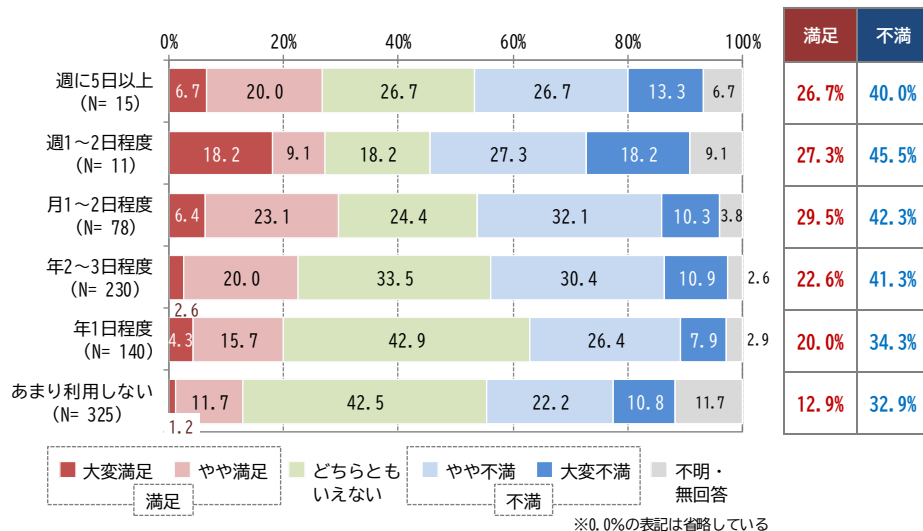


図 市内発着の JR の運行や駅施設の満足度<JR を利用している人のみ>

③市内発着の JR を利用しにくいと感じている点<JR を利用している人のみ>

○市内発着の JR を利用しにくいと感じている点は、「本数が少ない」が 59.8%で最も多く、以下「目的の駅まで時間がかかる」(32.7%)、「最終の時間が早い」(23.7%) と続いている。

○年齢別でみると、15~17 歳 (86.2%) では「本数が少ない」の割合が他の年齢層と比べて高い。また、18~29 歳では次いで「ICOCA が使えない」(38.5%) が多く、他の年齢層に比べてその割合が高い。

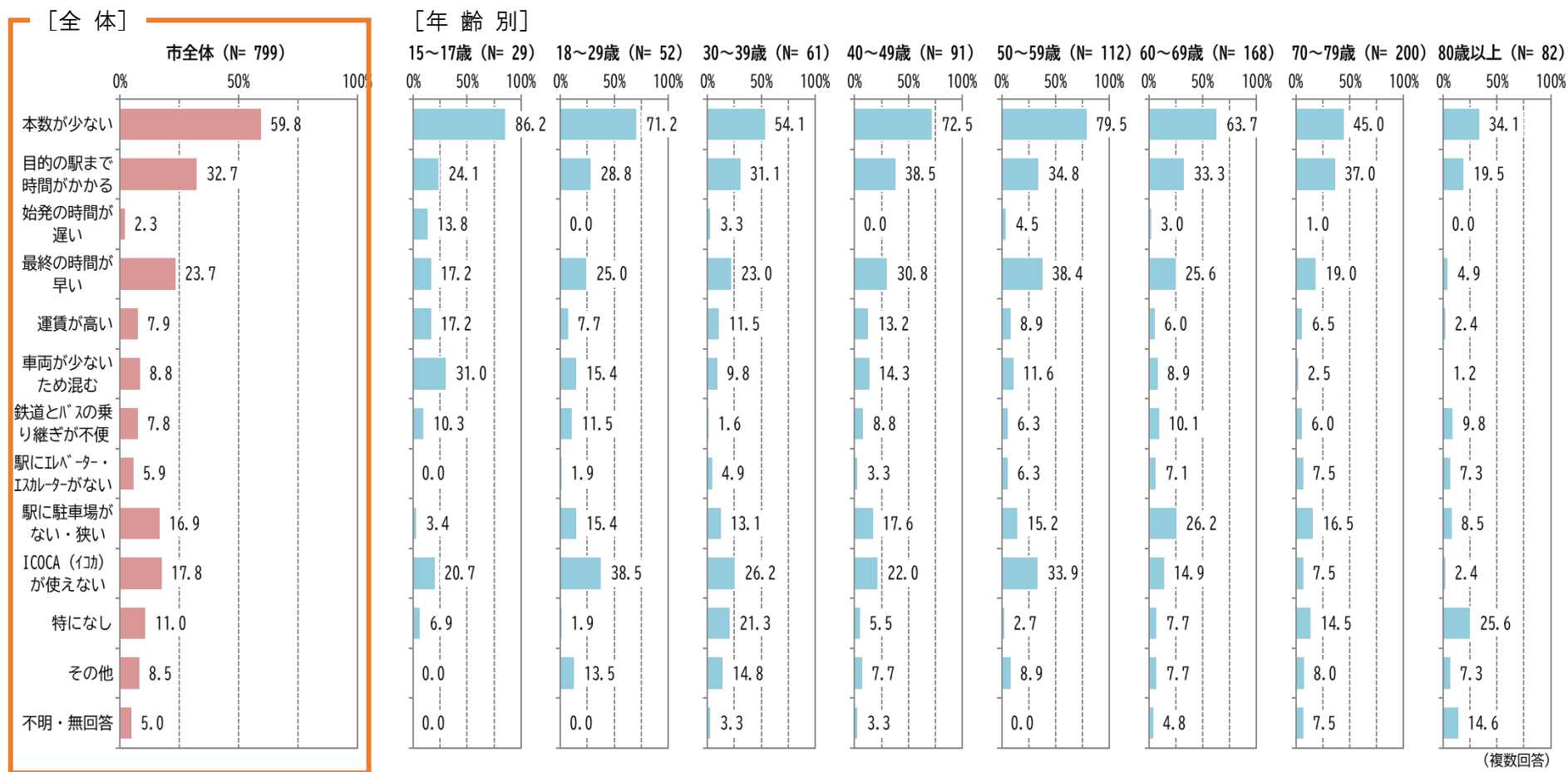


図 市内発着の JR を利用しにくいと感じている点

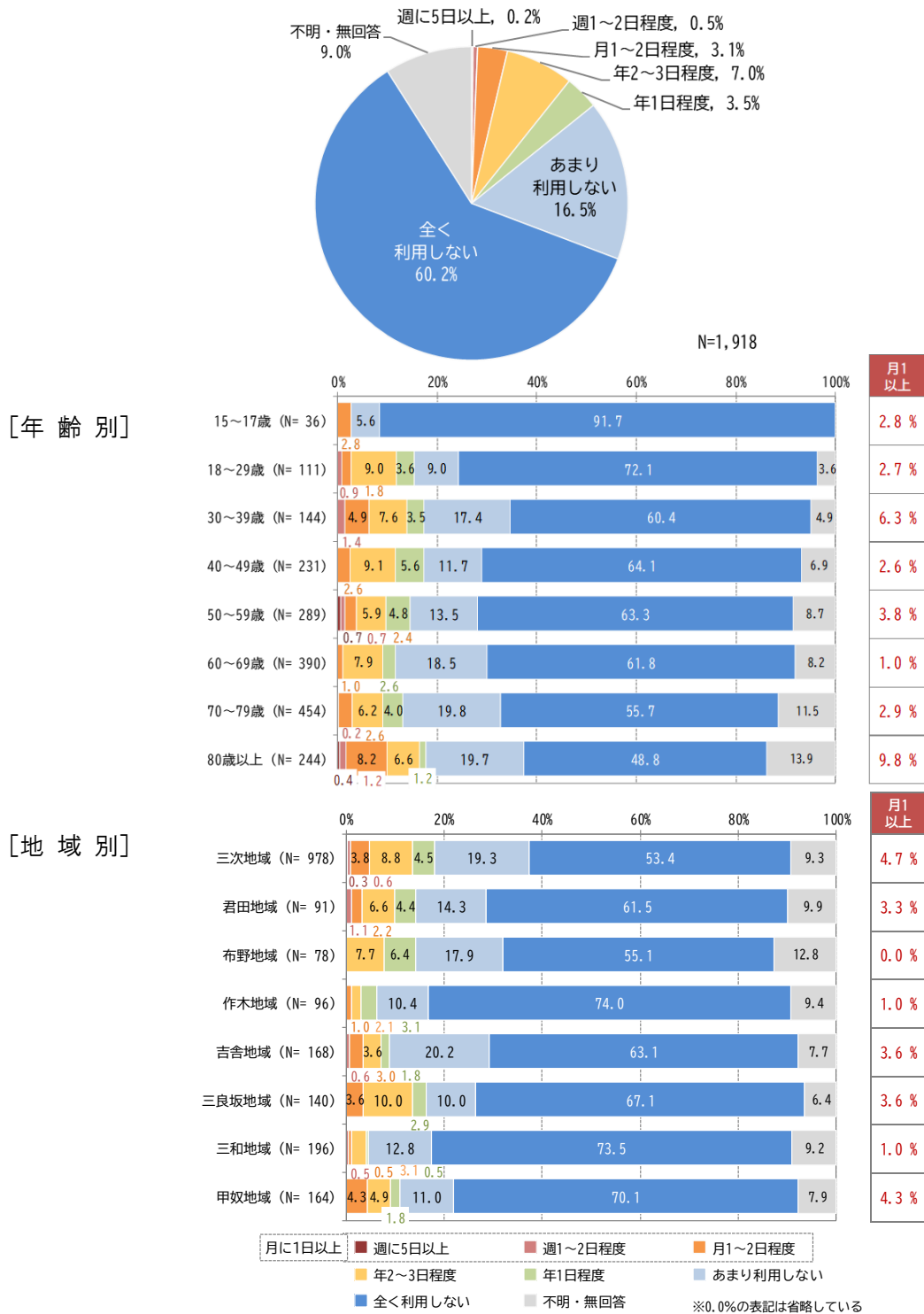
(5) タクシーの利用について

①市内のタクシーの利用頻度

○市内のタクシーの利用頻度は、「全く利用しない」が60.2%を占めている。一方、『月1日以上』の割合は3.7%、さらに『週1日程度以上』利用する回答者は0.6%にとどまる。

○年齢別で見ると、80歳以上では『月1日程度以上』が9.8%を占めるなど、比較的利用頻度が高い。

○地域別で見ると、作木地域、三和地域、甲奴地域では「全く利用しない」が70%以上を占める。



②タクシーの利用目的<タクシーを利用している人のみ>

○市内でのタクシーの利用目的は、「通院」が28.6%で最も多く、次いで「ショッピングや趣味・レジャー」が22.5%となっている。なお、「その他」の具体的内容は、飲酒を伴う飲食のときなどとなっている。

○年齢別でみると、80歳以上では「通院」が64.8%を占める。

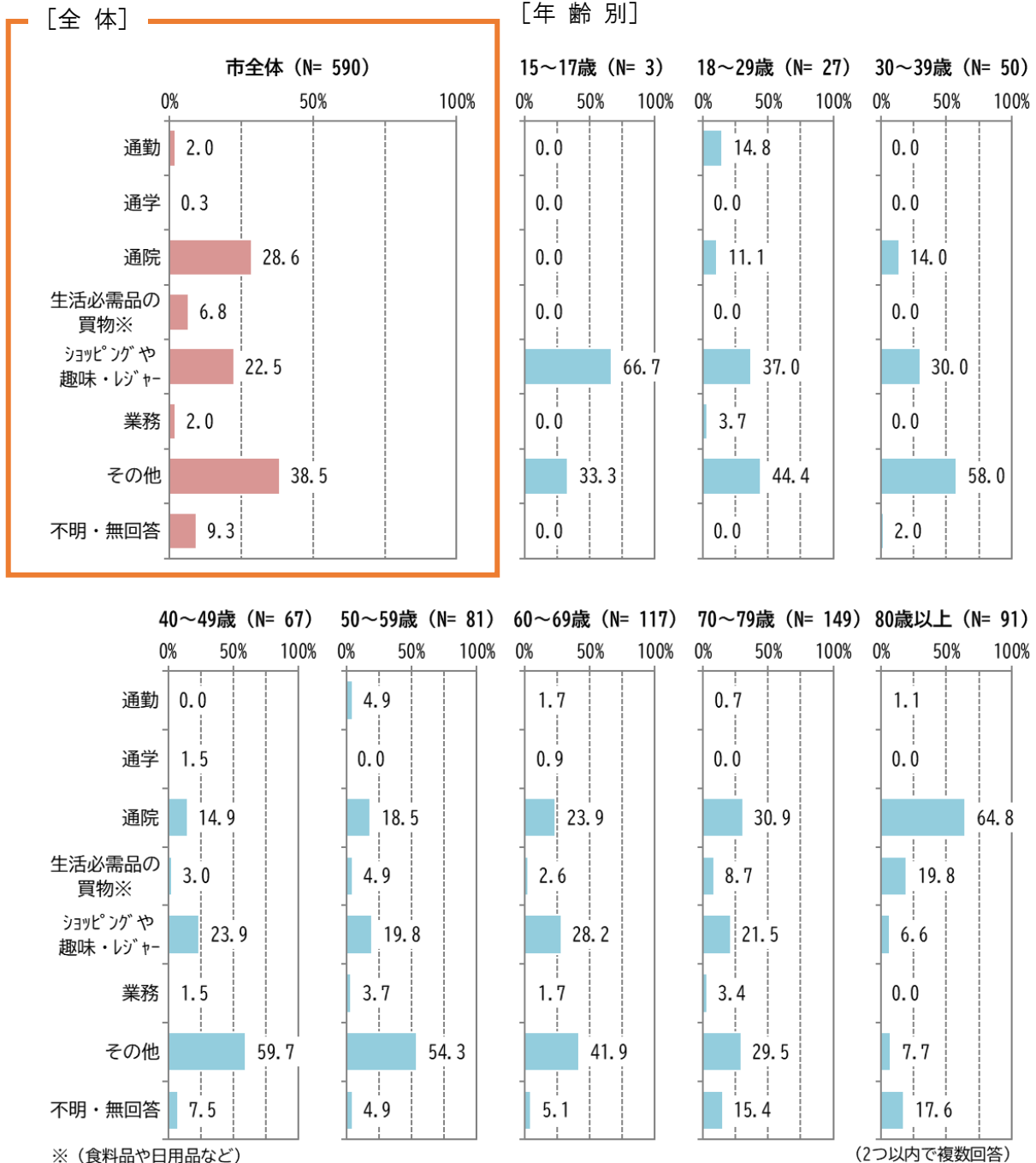


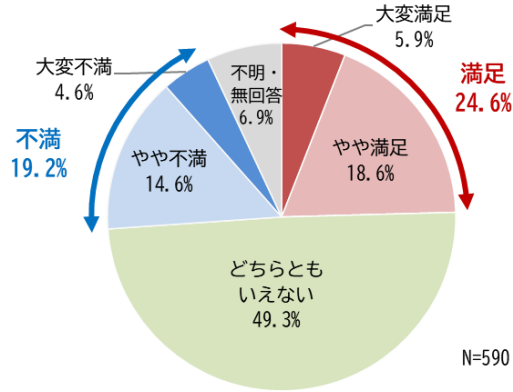
図 市内でのタクシーの利用目的<タクシーを利用している人のみ>

③市内のタクシーの満足度<タクシーを利用している人のみ>

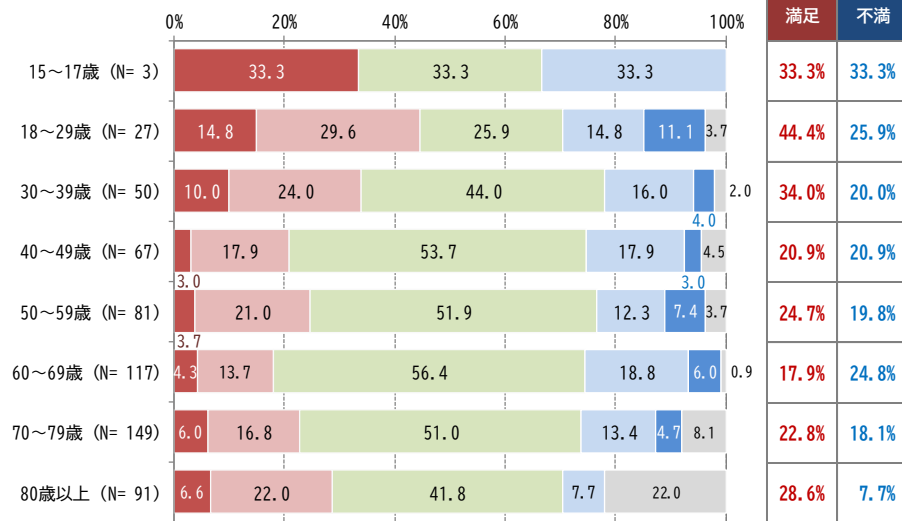
○市内のタクシーの満足度は、「どちらともいえない」が49.3%で最も多くなっている。また、『満足』（24.6%）が『不満』（19.2%）を上回っている。

○年齢別でみると、18～29歳（44.4%）では『満足』の割合が他の年齢層と比べて高い。一方、60～69歳では『不満』（24.8%）が『満足』（17.9%）を上回っている。

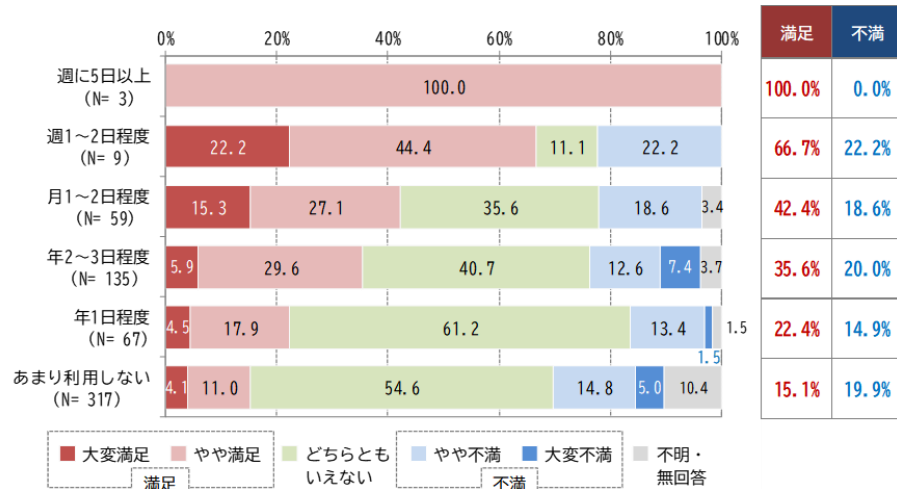
○利用頻度別でみると、頻度が少なくなるほど『満足』の割合が小さくなっている。



[年齢別]



[利用頻度別]



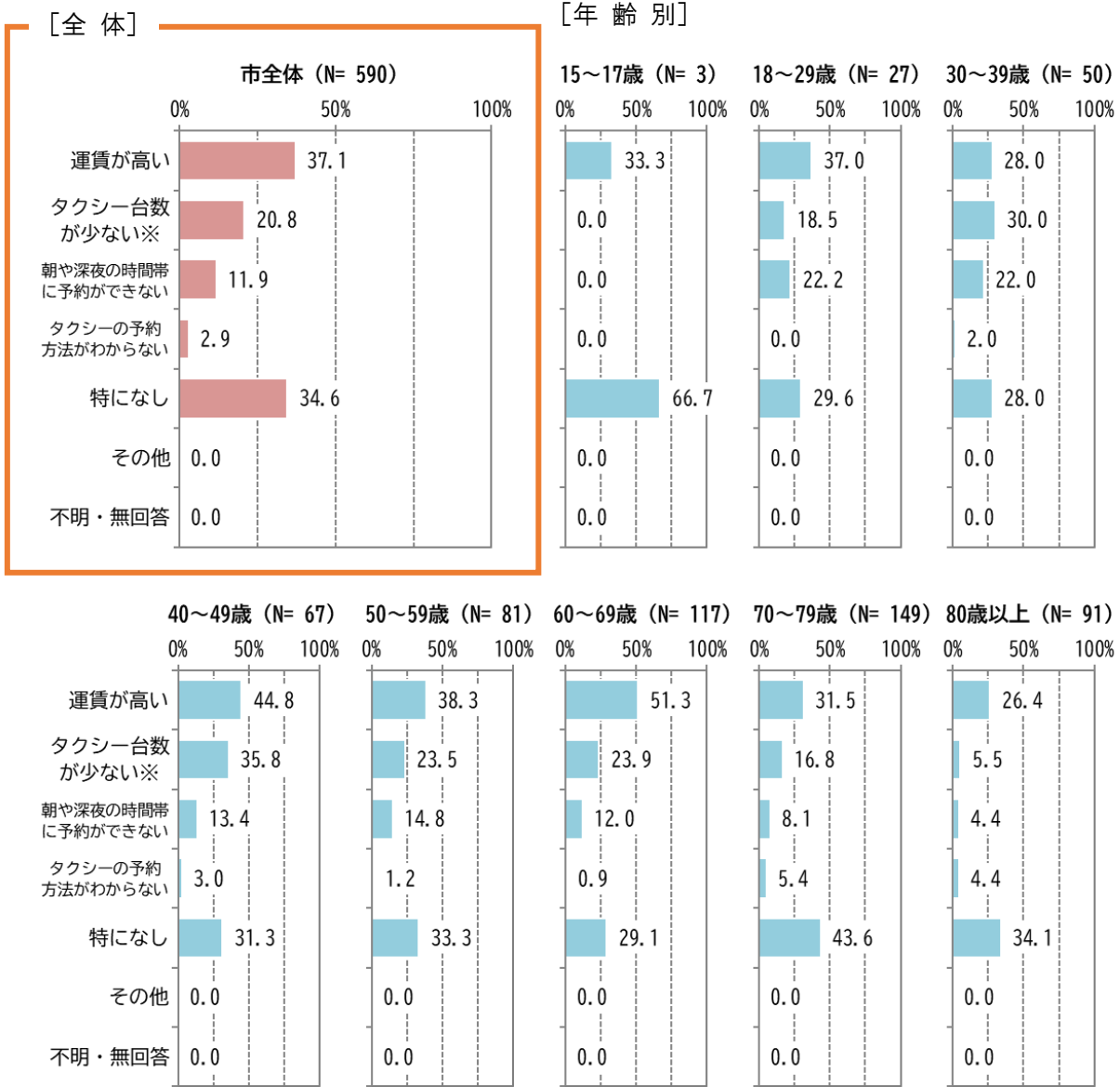
※0.0%の表記は省略している

図 市内のタクシーの満足度<タクシーを利用している人のみ>

④市内のタクシーを利用しにくいと感じる点

○市内のタクシーを利用しにくいと感じる点は、「運賃が高い」が37.1%で最も多く、次いで「タクシー台数が少ない※」が20.8%となっている。一方、「特になし」は34.6%となっている。

○年齢別でみると、60～69歳では「運賃が高い」が過半数を占める。



※（すぐにつかまらない、予約がとれない）

（複数回答）

図 市内のタクシーを利用しにくいと感じる点[年齢別]

(6) 市民バス等の利用について

①市民バス等の利用有無

○市民バス等の利用有無は、「いずれも利用したことはない」が86.8%を占めている。

○利用したことがある市民バス等は、「三次市民バス」が5.3%で最も多く、以下「ふれあいタクシーみらさか」(0.4%)、「さくぎニコニコ便」(0.2%)と続いている。

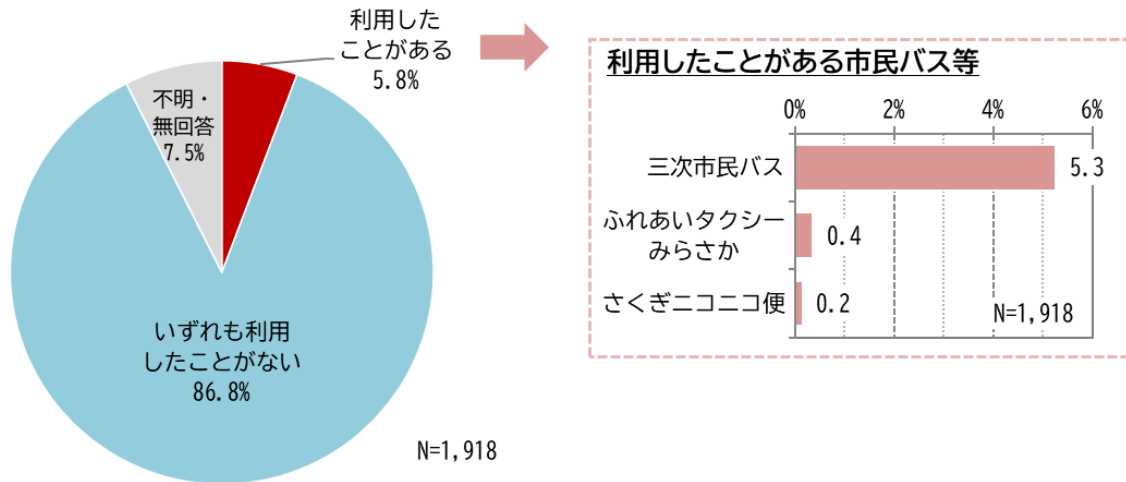
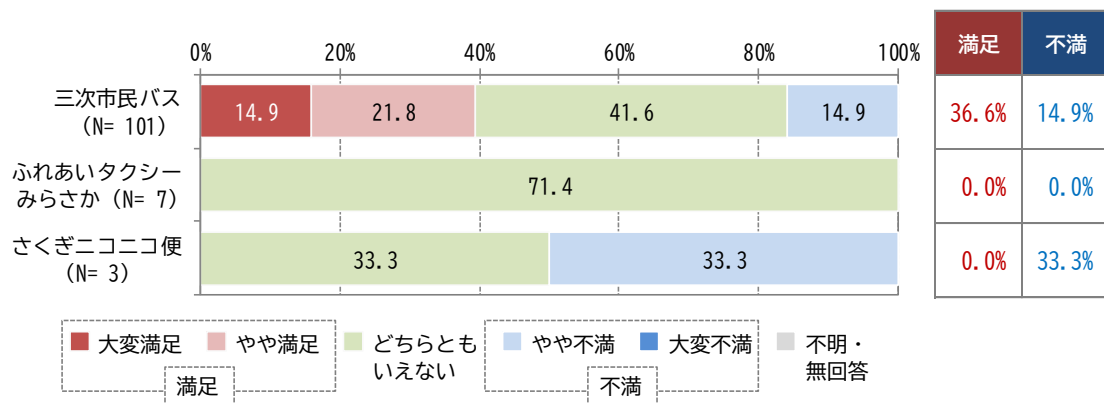


図 市民バス等の利用有無

②市民バス等の満足度

○市民バス等の満足度は、『満足』(33.3%)が『不満』(17.1%)を上回っている。



※0.0%の表記は省略している

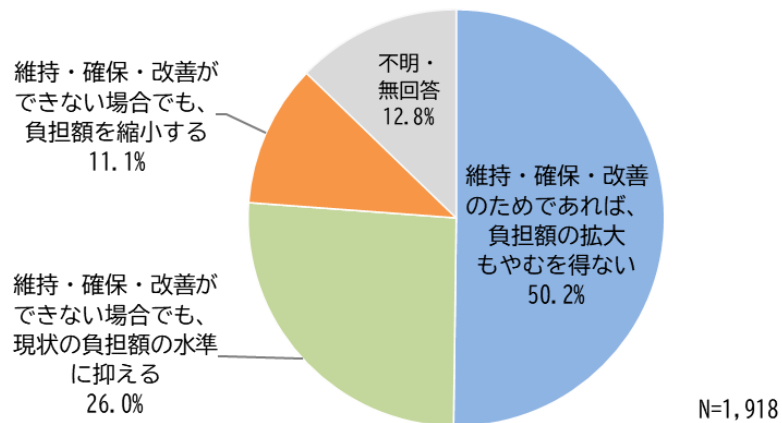
図 市民バス等の満足度<市民バス等を利用している人のみ>

(7) これからの三次市の公共交通について

① これからの公共交通維持の考え方

○これからの公共交通維持の考え方については、「維持・確保・改善のためであれば、負担額の拡大もやむを得ない」が50.2%を占めている。次いで「維持・確保・改善ができない場合でも、現状の負担額の水準に抑える」が26.0%となっている。

○年齢別でみると、全ての年齢層で「負担額の拡大もやむを得ない」が最も多く、特に15～17歳では72.2%を占め、他の年齢層と比べてその割合が非常に高い。一方、(15～17歳を除いて)若い年齢層ほど「負担額を縮小する」の割合が高くなっている。



[年齢別]

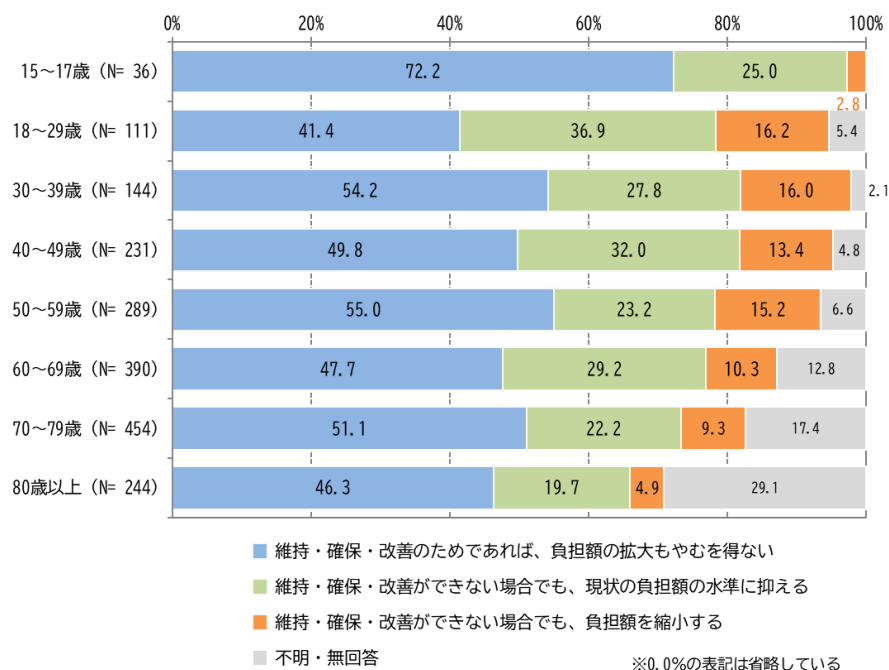


図 これからの公共交通維持の考え方

②今後あれば良いと思う公共交通施策

○今後あれば良いと思う公共交通施策は、「三次市民バスのデマンド化」が44.2%で最も多く、以下「ライドシェアの導入」(26.1%)、「バス等の待合環境の整備」(18.0%)と続いている。

○年齢別でみると、29歳以下では「バス等のキャッシュレス決済導入」が最も多く、他の年齢層と比べてその割合が高い。

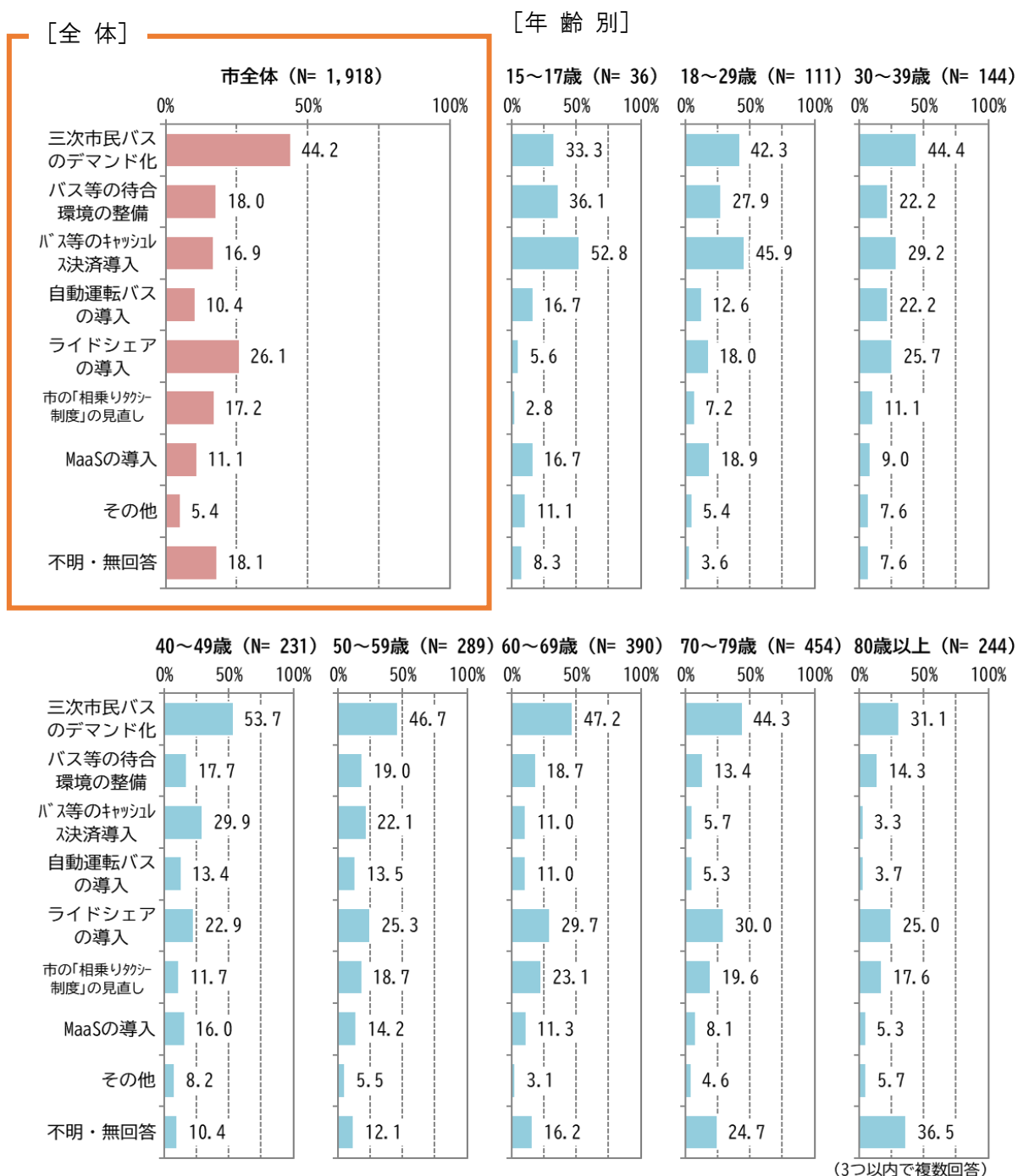


図 今後あれば良いと思う公共交通施策[年齢別]

○今後あれば良いと思う公共交通施策を地域別でみると、全ての地域で「三次市民バスのデマンド化」が最も多く、特に布野地域では62.8%を占める。

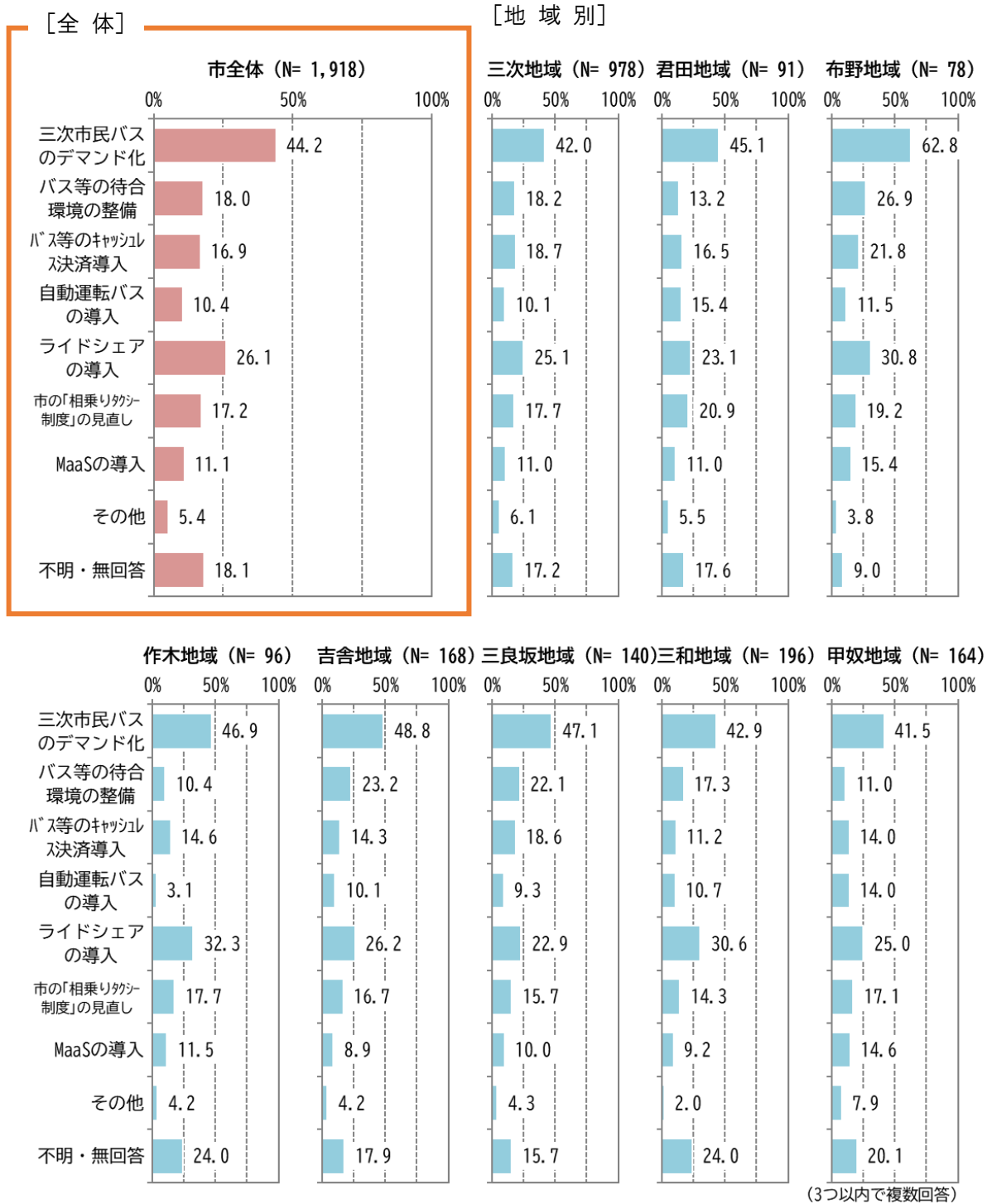
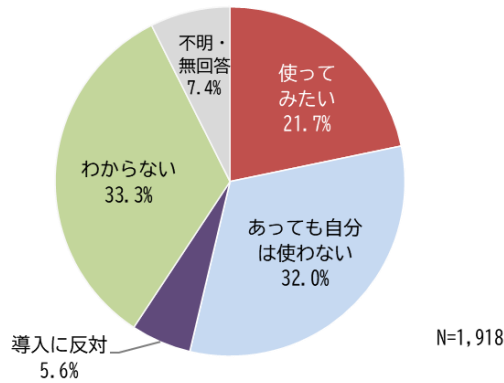


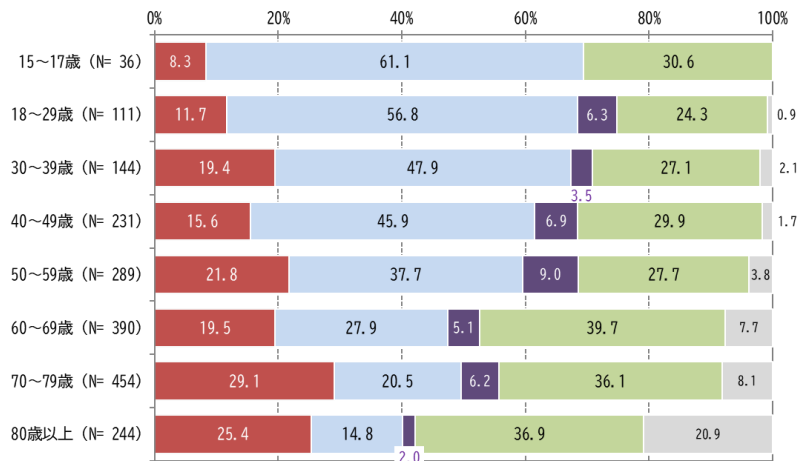
図 今後あれば良いと思う公共交通施策[地域別]

③ 「ライドシェア」の導入への考え方

- 「ライドシェア」の導入への考え方は、「わからない」が33.3%で最も多く、次いで「あっても自分は使わない」が32.0%となっている。一方、「使ってみたい」は21.7%となっている。
- 年齢別で見ると、70歳以上では25%以上が「使ってみたい」と回答している。一方、若い年齢層ほど「あっても自分は使わない」の割合が高くなっている。
- 地域別で見ると、布野地域と作木地域では「使ってみたい」が26%台となっており、他の地域と比べてその割合がやや高い。



[年齢別]



[地域別]

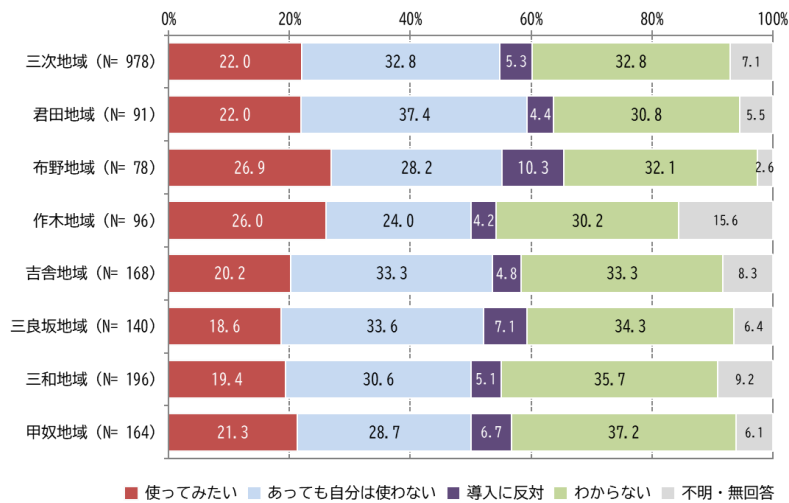


図 「ライドシェア」の導入への考え方

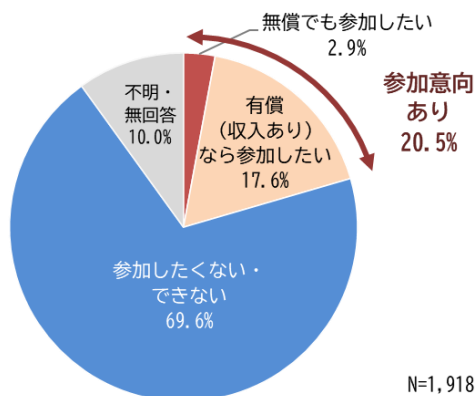
④ 「ライドシェア」のドライバーとしての参加意向

○「ライドシェア」のドライバーとしての参加意向は、「参加したくない・できない」が69.6%で最も多くなっている。

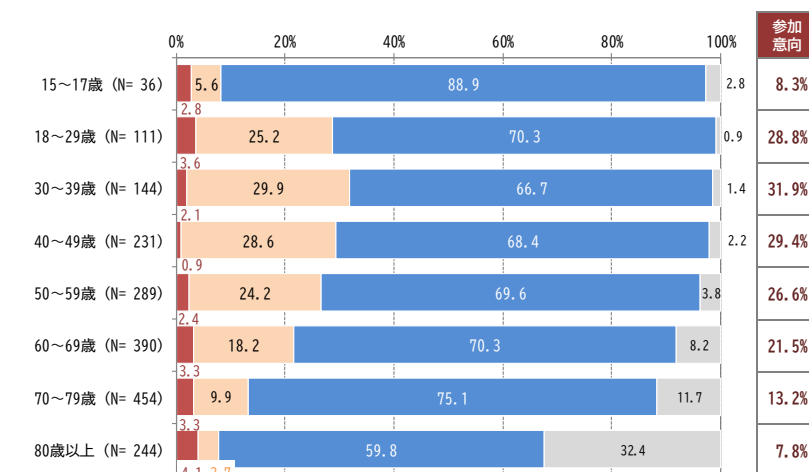
一方、「有償（収入あり）なら参加したい」は17.6%、「無償でも参加したい」は2.9%となっており、『参加意向あり』の割合は20.5%となっている。

○年齢別で『参加意向あり』の割合をみると、30～39歳が31.9%で最も高く、以下、40～49歳が29.4%、18～29歳が28.8%と続いており、18～49歳では「有償なら参加したい」が25%以上を占める。

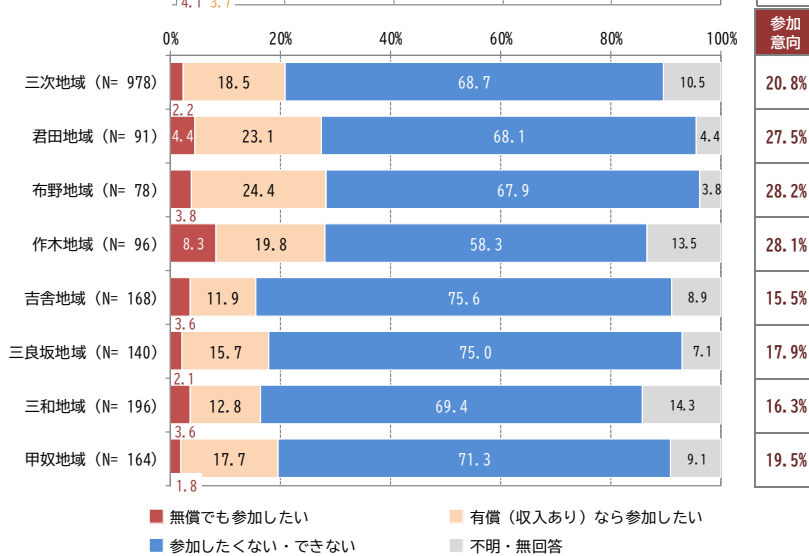
○地域別で『参加意向あり』の割合をみると、君田地域、布野地域、作木地域では25%以上を占める。



[年齢別]



[地域別]



※0.0%の表記は省略している
図 「ライドシェア」のドライバーとしての参加意向

(8) スマホ・キャッシュレス決済の活用について

①スマホ保有・LINE 利用

○全体で見ると、スマホ保有は 83.1%、LINE 利用率は 67.0%、市公式 LINE 登録率は 29.8%である。
 ○年齢別で見ると、LINE 利用率は 59 歳以下では 80%以上であるのに対し、80 歳以上では 20.9%にとどまる。また、市公式 LINE 登録率は 40～49 歳（55.0%）、30～39 歳（42.4%）において高い。

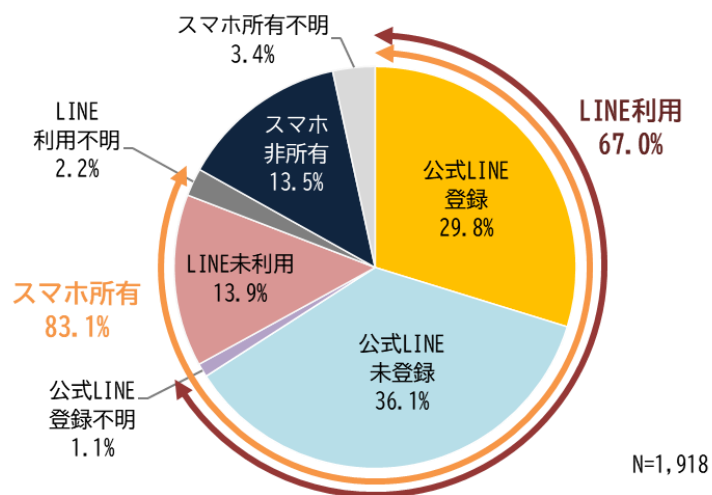


図 スマホ保有・三次市公式 LINE の登録状況

[年齢別]

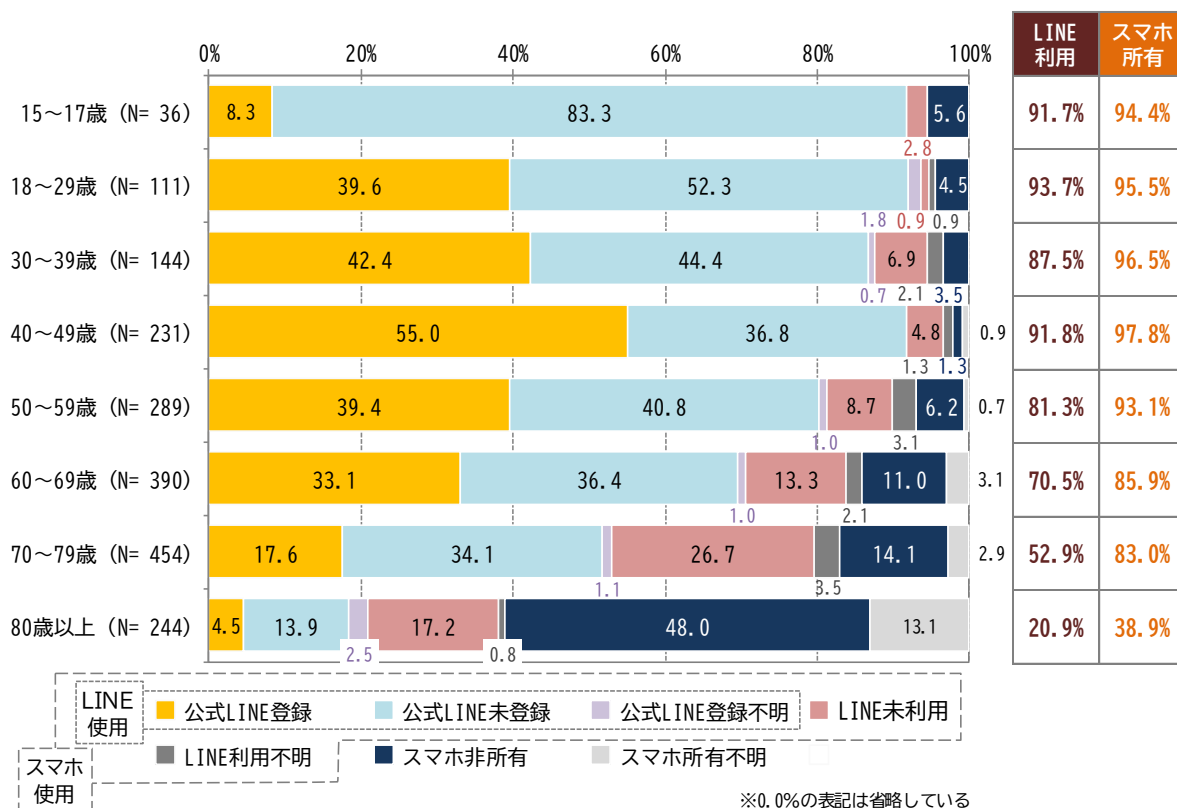
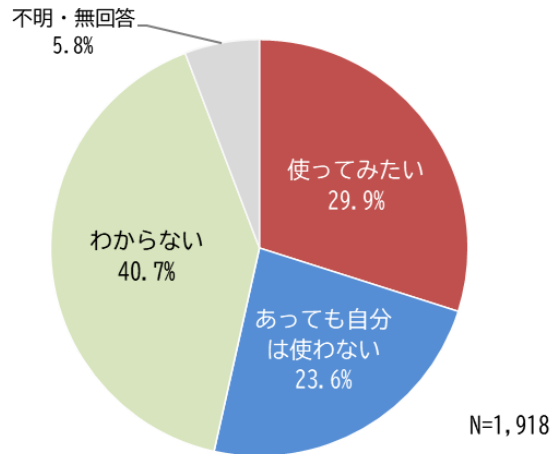


図 スマホ所有・LINE 利用・公式 LINE 登録の状況

② 「スマホ」を使った利用予約への考え方

○ 「スマホ」を使ったデマンド型バス、ライドシェア等の利用予約について、「わからない」が40.7%となっている。一方、「使ってみたい」は29.9%である。

○ 年齢別で「使ってみたい」割合をみると、40～49歳が45.5%で最も高く、18～39歳と50～59歳でも約37%を占めている。一方、80歳以上では10.7%にとどまる。



[年齢別]

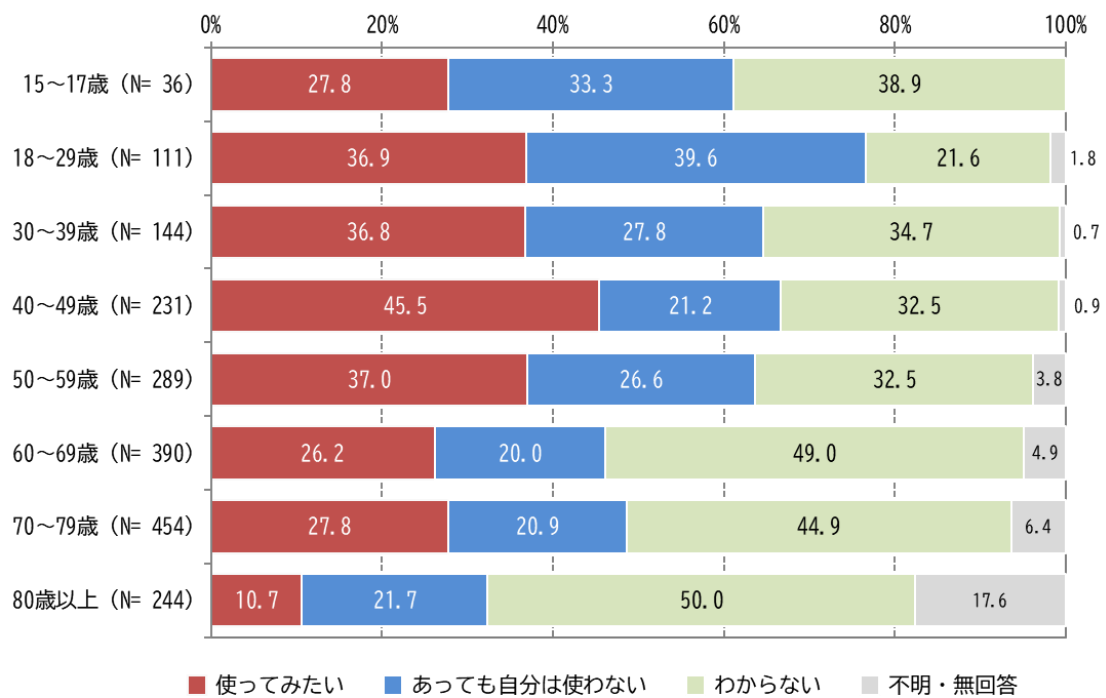
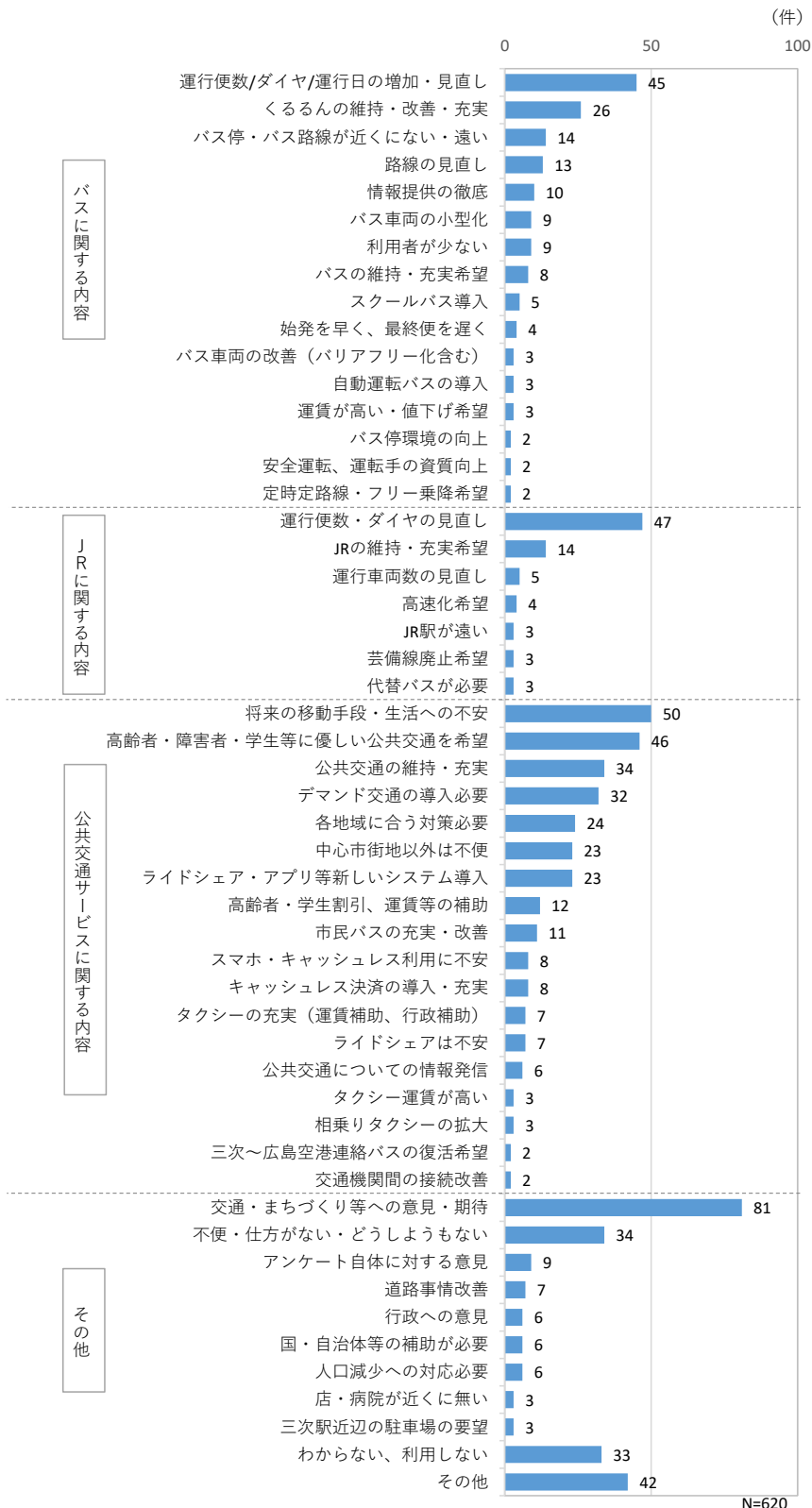


図 「スマホ」を使った利用予約への考え方

(9) 三次市の地域公共交通に対する意見等



※記述内容を項目別に仕分けて件数をカウント

※1つの意見で複数項目に該当するものがあり、それぞれの項目でカウントした